

第9回妊娠・出産・産後における妊産婦等の 支援策等に関する検討会

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業))

分娩取扱施設を対象とした 「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の 把握のための調査研究」について

2025年4月16日 (水) (14:00～16:00)



研究代表者 野口晴子

(早稲田大学 政治経済学術院)

本日の報告

1. 研究の概要
2. 分娩取扱施設の概要
3. 病棟（ユニット）における医療提供体制等
4. 患者（産婦）票の結果について
5. 妊婦健診と産後ケア
6. 分娩取扱施設の収益等
7. まとめ（全体）

1. 研究の概要

研究の背景・目的・体制

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会（改）

資料3

➤ 研究の背景

- ✓ 「こども未来戦略方針」（令和5年6月13日閣議決定）→出産等の経済的負担の軽減を目的として、令和5年4月からの出産育児一時金の大幅な引上げを行い、出産費用の見える化について令和6年度からの実施に向けて具体化を進め、その上で、これらの効果等の検証を行い、令和8年度を目途に出産費用（正常分娩）の保険適用の導入等の検討を行う。
- ✓ 正常分娩は自費診療であり、病院・診療所・助産所の全施設を対象として費用構造を明らかにした大規模調査は存在しない。

➤ 研究の目的

- ✓ 正常分娩を取り扱う医療機関等を対象に、出産等の費用構造等の実態を把握すること
 - ・ 2024年度に実施されたパイロット調査を基にして検討を行った調査方法と調査項目により、全国の分娩取扱施設を対象とした調査を実施。
 - ・ 調査結果に基づき、記述統計量と回帰分析を用いた統計的検証を実施。

➤ 研究体制

研究班構成メンバー		所属
野口 晴子	研究代表者	早稲田大学 政治経済学術院 教授
片岡 弥恵子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 教授
増澤 祐子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授 (令和7年4月より新潟県立看護大学 准教授)
亀井 良政	研究協力者	公益社団法人日本産科婦人科学会 常務理事
田倉 智之	研究協力者	日本大学医学部社会医学系医療管理学分野
宮崎 亮一郎	研究協力者	公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事

研究概要

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

- 対象：全国の分娩取扱施設
- 目的：施設の構造や実績・患者の実態・費用構造等を調査
- 方法：郵送とオンライン（Excelシート）の併用調査
- 調査種別と対象数：
 - ✓ 悉皆調査（病院：911件；診療所：936件；助産所：326件）
 - ✓ サンプル調査（1/2（約50%）を抽出：病院：499件；診療所：469件）
 - ※調査時点で「分娩取扱無し」と回答した施設は除外
- 調査票：5種類 → A票は悉皆調査用；B票はサンプル調査用
 - ✓ 病院票 A票
 - ✓ 病院票 B票 → 特定機能病院（82）に対しては，サンプル調査も悉皆で実施
 - ✓ 診療所票 A票
 - ✓ 診療所票 B票
 - ✓ 助産所票 A・B票 → 助産所に対しては全て悉皆で実施

調査実施

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

□ 悉皆調査（A票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

- ・ 施設情報（構造設備・医療体制・分娩件数・付帯サービスの種類や価格等）
- ・ 病棟情報（→病院のみ，病棟構成・配置職員数等）
- ・ 外来情報

□ サンプル調査（B票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

業務時間情報；患者情報（各施設3例）；経営実態等

✓ 調査対象

分娩件数・設置主体・機能・地域別（総務省の地域コード）で層化し、抽出率1/2（約50%）で病院・診療所を無作為抽出．

✓ サンプル数の根拠

2023年度に実施したパイロット調査の有効回答率（約30%）を基に，1,000例程度の患者票を得ることを想定（※各施設3例として約333施設からの回答が必要）．

調査票の回収状況

令和7年3月19日

資料3

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

施設	調査票	対象数	回収	回収率
病院	A票	911	341	37.4%
	B票 ¹⁾	500	145	29.0%
	患者個票（施設） ²⁾	500	124	24.8%
	患者個票（事例） ³⁾	1,500	308	20.5%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		254	
診療所	A票	936	465	49.7%
	B票 ¹⁾	469	196	41.8%
	患者個票（施設） ²⁾	469	174	37.1%
	患者個票（事例） ³⁾	1,407	477	33.9%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		408	
助産所	A票	326	206	63.2%
	B票 ¹⁾	326	161	49.4%
	患者個票（施設） ²⁾	326	150	46.0%
	患者個票（事例） ³⁾	978	287	29.3%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		246	
計	A票	2,173	1,012	46.6%
	B票 ¹⁾	1,295	502	38.8%
	患者個票（施設） ²⁾	1,295	448	34.6%
	患者個票（事例） ³⁾	3,885	1,072	27.6%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		908	

1) B票の対象施設には、1機関につき3事例の患者個票（タイムスタディ含む）を依頼した。

2) B票に回答した施設のうち、患者個票に回答のあった施設数

3) 患者個票に回答のあった事例数

4) 患者個票の回答のあった事例のうち、タイムスタディに回答のあった事例数

施設属性別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）

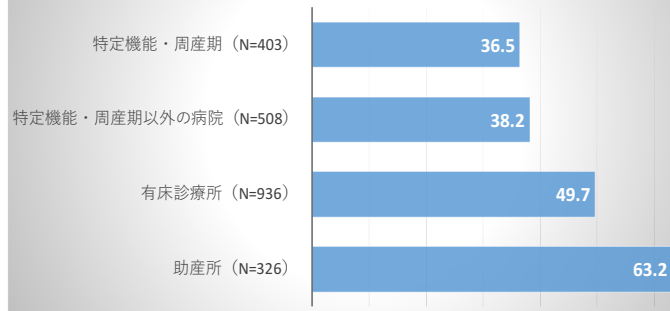
令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

図1-1 機能別・A票（%）

Pearson $\chi^2(3) = 70.6689$ Pr = 0.000

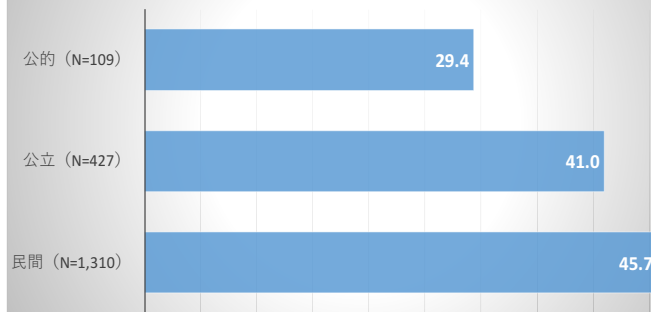


✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中206施設（63.2%），次いで有床診療所が936施設中465施設（49.7%），低迷したのが病院で，特定機能・周産期が403施設中147施設（36.5%），特定機能・周産期以外の病院が508施設中194施設（38.2%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 70.6689$ （ $p = 0.000$ ））から，1%未満の水準で，機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-1参照）。

図2-1 経営主体別・A票（%）

Pearson $\chi^2(3) = 54.1715$ Pr = 0.000

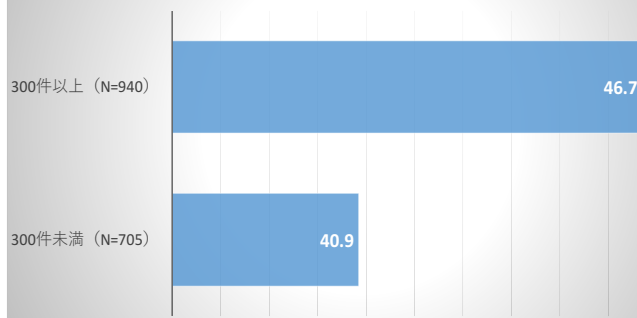


✓ 経営主体別（助産所を除く）

民間が1,310施設中599施設（45.7%）と最も高く，公立が427施設中175施設（41%），公的が109施設中32施設（29.4%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 54.1715$ （ $p = 0.000$ ））から，1%未満の水準で，経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-1参照）。

図3-1 年間分娩件数別・A票（%）

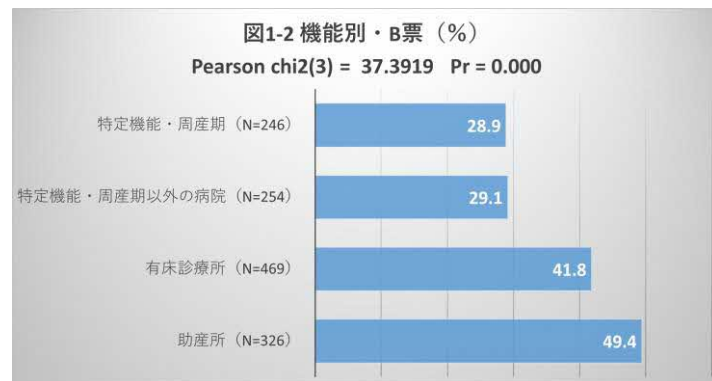
Pearson $\chi^2(2) = 44.9146$ Pr = 0.000



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

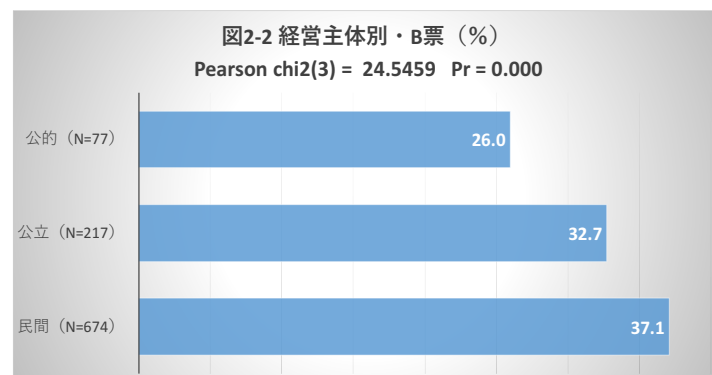
300件以上の施設が940施設中439施設（46.7%），300件未満の施設が705施設中288施設（40.9%）と低い傾向。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 44.9146$ （ $p = 0.000$ ））で，分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-1参照）。

施設属性別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）



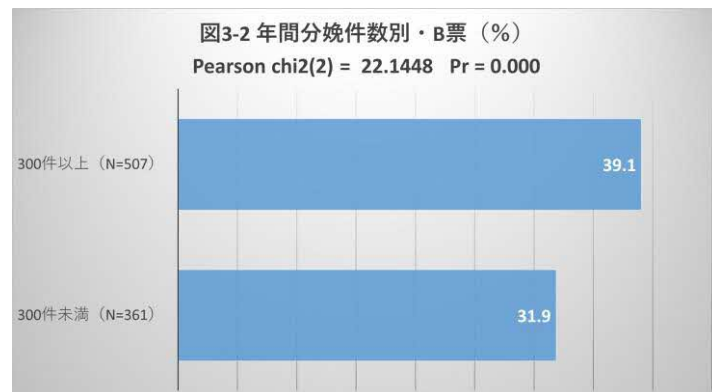
✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中123施設（49.4%）、次いで有床診療所が469施設中196施設（41.8%）、低迷したのが病院で、特定機能・周産期が246施設中71施設（28.9%）、特定機能・周産期以外の病院が254施設中74施設（19.1%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 37.3919$ ($p = 0.000$)) から、1%未満の水準で、機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-2参照）。



✓ 経営主体別（助産所を除く）

民間が674施設中250施設（37.1%）と最も高く、公立が217施設中71施設（32.7%）、公的が77施設中20施設（26%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 24.5459$ ($p = 0.000$)) から、1%未満の水準で、経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-2参照）。



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

300件以上の施設が507施設中198施設（39.1%）、300件未満の施設が361施設中115施設（31.9%）と低い傾向。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 22.1448$ ($p = 0.000$)) で、分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-2参照）。

都道府県別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）

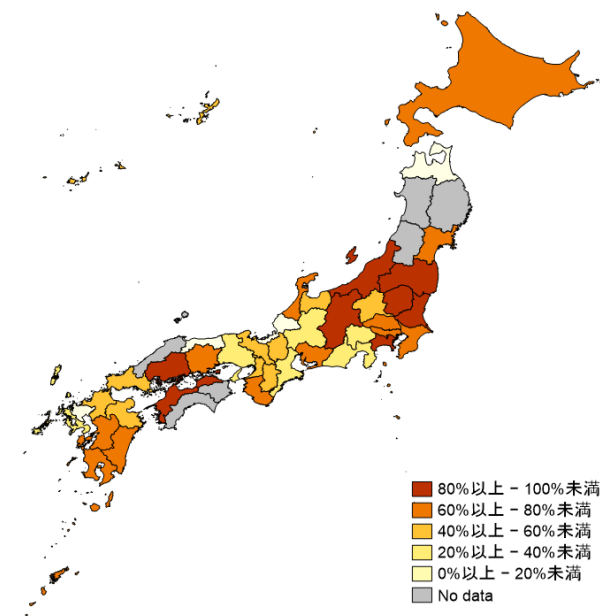
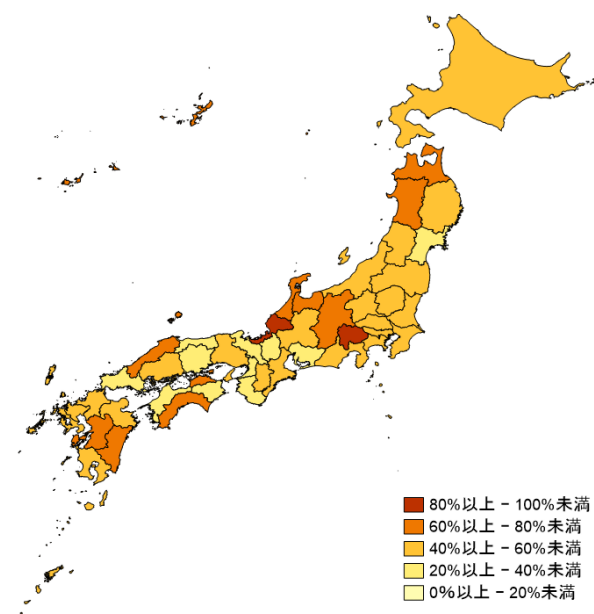
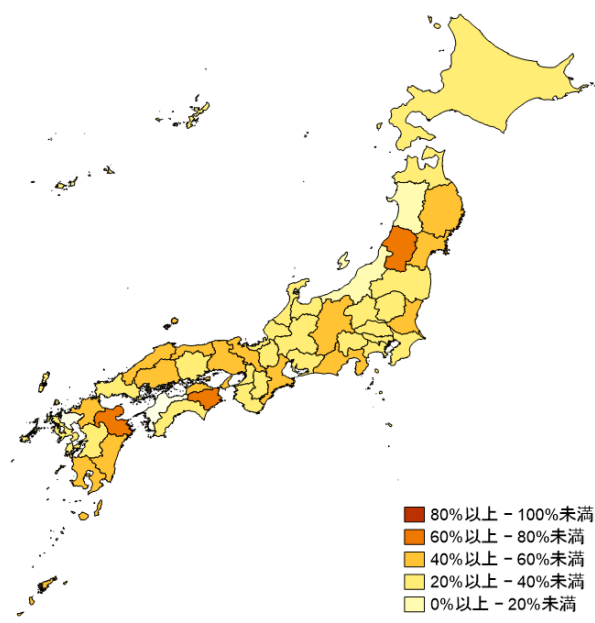


図4-1 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-1 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-1 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

都道府県別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）

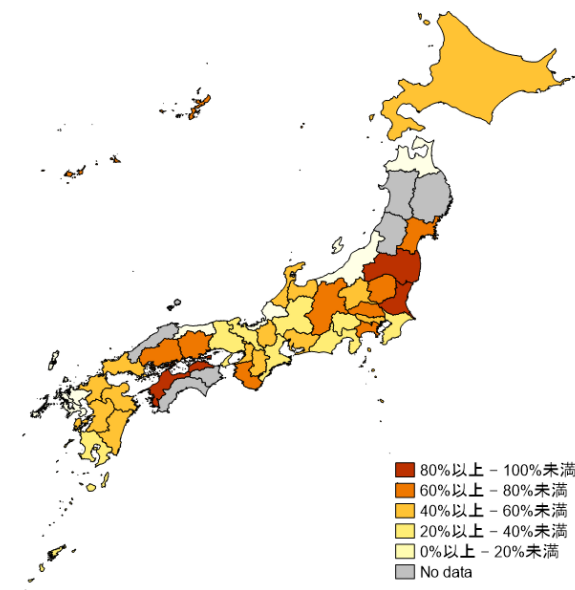
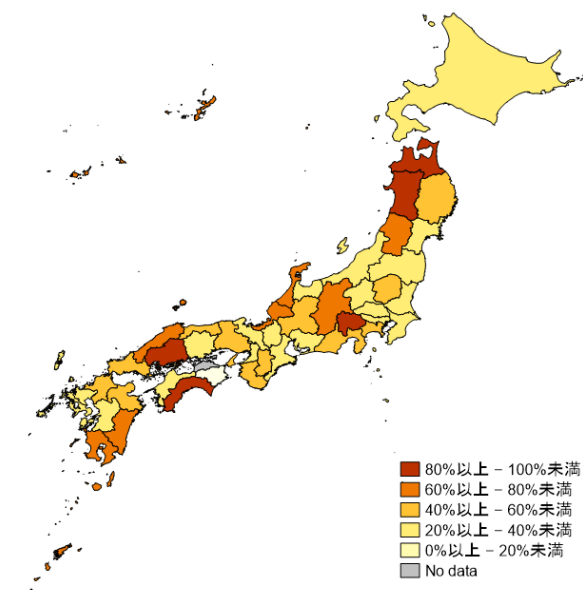
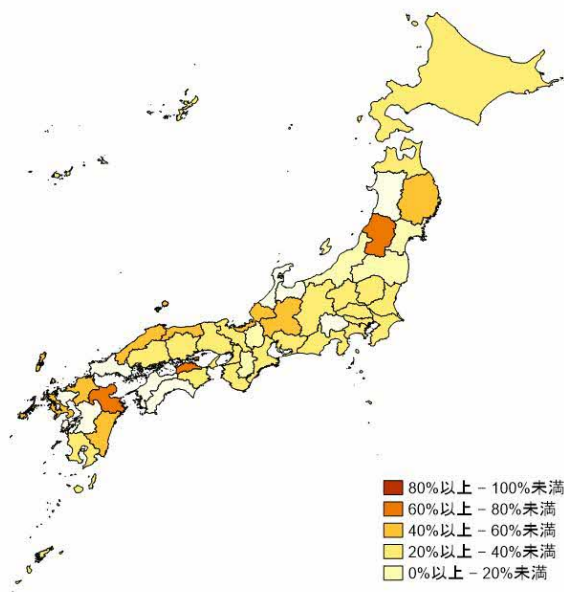


図4-2 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-2 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-2 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

本報告における留意事項

- 本報告の分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、**速報値による報告**であることに留意いただきたい。また、令和7年度に研究班により精査を行う予定である。
- 尚、**修正や調整が可能と判断したデータ**については、研究班により統計的な処理を施した。調整内容については、**当該スライドに明記**している。
- 以上の理由により、群間での違いに対する統計的な検定は殆ど行っておらず、**群間での統計的な有意差についても、データの精査後に研究班にて行う予定**である。

2. 分娩取扱施設の概要

2 - 1. 施設区分別

構造設備

- 「分娩室数」、「分娩台数」等の設備は、総合・地域周産期母子医療センターが最も多く、続いてそれ以外の病院であった。
- 「集中監視システム機器」は、それ以外の病院で98%、総合・地域周産期母子医療センターで80%、診療所では69%が設置していた。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180			それ以外の病院 N=148			診療所 N=465			助産所 N=204		
	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大
分娩室数	169	2.1 (1.5)	0 9	147	1.6 (1.2)	0 5	425	1.4 (1.6)	0 19	191	1.3 (0.5)	1 2
分娩台数	170	3.0 (1.6)	0 13	148	2.7 (1.1)	0 6	444	2.0 (0.8)	0 6	—	—	
LDR室数	169	1.5 (2.0)	0 14	146	1.3 (1.5)	0 6	418	0.9 (1.2)	0 8	—	—	
陣痛室数	169	1.5 (1.4)	0 9	147	1.5 (1.4)	0 9	432	1.2 (1.2)	0 13	—	—	
超音波画像診断装置（分娩室用）台数	167	1.3 (1.1)	0 7	148	1.1 (1.6)	0 17	434	1.1 (0.9)	0 6	199	0.9 (0.5)	0 2
分娩監視装置台数	165	11.1 (6.8)	1 41	146	7.5 (3.8)	1 23	451	5.2 (2.4)	1 15	199	1.3 (0.7)	0 4
保育器（開放式）インファントウォーマー台数	167	5.2 (5.2)	0 40	147	3.7 (2.1)	1 16	456	2.0 (1.2)	0 15	199	0.1 (0.4)	0 2

	総合・地域周産期母子医療センター		それ以外の病院		診療所		助産所	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
集中監視システム機器								
あり		134 (80.2)		143 (97.9)		308 (68.8)	—	—
なし	167	33 (19.8)	146	3 (2.1)	448	140 (31.3)	—	—

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職員数

- 総合・地域周産期母子医療センターでは職員数が多く配置されており、「産婦人科医師数」は平均約11名、「小児科医師数」約15名、「麻酔科医師数」約11名、「助産師数」約36名であった。
- 「産婦人科医師数」の平均は、それ以外の病院で約6名、診療所で約3名であった。「小児科医師数」の平均は、それ以外の病院で約14名（うち非常勤の常勤換算10名）であった。「助産師数」の平均は、それ以外の病院で約21名、診療所約9名であった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465				助産所 N=204			
	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大
産婦人科医師数																
常勤	178	9.7(7.0)	0	36	148	5.1(3.2)	1	24	457	1.8(1.1)	0	10	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	167	1.5(2.5)	0	14.1	140	1.3(1.8)	0	15.0	408	1.3(1.9)	0	18.0	—	—	—	—
小児科医師数（新生児科医含）																
常勤	176	12.4(12.6)	0	76	146	3.6(6.9)	0	78	395	0.1(0.4)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	166	2.3(4.5)	0	23.0	134	10.0(106.1)	0	1229.0	400	0.3(0.6)	0	4.0	—	—	—	—
麻酔科医師数																
常勤	172	9.0(9.1)	0	44	144	3.7(4.5)	0	28	396	0.1(0.4)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	163	2.2(3.9)	0	21.4	139	0.8(1.2)	0	5.4	385	0.1(0.6)	0	8.0	—	—	—	—
助産師数																
常勤	175	33.9(27.5)	0	195	144	18.5(11.2)	0	51	455	6.4(4.6)	0	29	199	1.4(1.2)	0	10
非常勤の常勤換算	174	1.9(3.1)	0	29.6	139	2.6(5.7)	0	61.0	437	2.4(2.3)	0	14.0	186	2.2(2.8)	0	22
保健師数																
常勤	168	3.2(11.9)	0	108	135	2.1(7.4)	0	50	380	0(0.3)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	167	0.2(0.6)	0	3.8	134	0.1(0.5)	0	4.6	372	0(0.1)	0	1.0	—	—	—	—
看護師数																
常勤	174	492.5(298.3)	4	1499	145	232.6(223.8)	1	1110	451	3.8(3.0)	0	17	176	0(0.2)	0	2
非常勤の常勤換算	174	25.2(25.5)	0	205.0	143	14.3(15.1)	0	75.9	417	1.2(1.5)	0	9.0	176	0.1(0.4)	0	2
准看護師数																
常勤	169	1.8(2.7)	0	11	142	3.0(4.4)	0	29	435	2.3(2.3)	0	12	175	0(0)	0	0
非常勤の常勤換算	169	1.2(2.0)	0	14.2	141	1.2(2.0)	0	16.1	409	0.6(1.0)	0	8.1	173	0.0(0.1)	0	1

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 産婦人科医師数、小児科医師数、助産師数、看護師数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

夜勤帯・休日のオンコールの人数

- 「夜勤帯・休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆け付けることができるように待機している人数（院内）」については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院と診療所が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターで最も多かった。
- 「院外」での待機については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は同数であり、「麻酔科医師」は総合・地域周産期母子医療センターで多かった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465			
	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大
院内												
産婦人科医師	163	0.4 (1.0)	0	11	134	0.6 (3.6)	0	42	410	0.6 (0.6)	0	2
小児科医師	158	0.3 (0.5)	0	3	133	0.1 (0.3)	0	1	365	0.0 (0.2)	0	1
麻酔科医師	156	0.2 (0.6)	0	3	131	0.1 (0.3)	0	1	369	0.1 (0.2)	0	2
その他	140	0.5 (3.0)	0	23	126	0.1 (0.5)	0	4	352	0.1 (0.3)	0	4
院外												
産婦人科医師	171	1.0 (0.8)	0	5	143	1.3 (1.7)	0	19	416	0.9 (0.7)	0	3
小児科医師	165	1.1 (2.7)	0	33	141	1.1 (4.8)	0	54	368	0.1 (0.3)	0	2
麻酔科医師	162	0.8 (0.8)	0	5	138	0.6 (0.6)	0	5	370	0.1 (0.3)	0	1
その他	139	1.1 (3.8)	0	23	126	0.4 (1.7)	0	15	346	0.2 (0.6)	0	5

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 産婦人科医師数、小児科医師数、麻酔科医師数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。その他には、助産師、看護師等が含まれる。

分娩件数等

- 1か月間の「分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。助産所の1年間の平均は、13件であった。正期産の「帝王切開」は、予定および緊急とも、総合・地域周産期母子医療センターが最も多かった。
- 1か月間の「無痛分娩（硬膜外麻酔）数」の平均は、それ以外の病院が最も多く、次に診療所、総合・地域周産期母子医療センターの順であった。
- 「出産目的で入院する妊産婦の最も多くみられる入院日数」は、帝王切開分娩で平均7日程度、経膈分娩で初産婦5～6日程度、経産婦5日程度であり、施設種別で大きな差はなかった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465				助産所 N=204			
	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大
全分娩数	168	43.04 (42.91)	0	340	143	35.61 (29.67)	0	135	442	35.83 (63.52)	0	832	196	12.72 (13.68)	0	85
全分娩件数のうち、早産の経膈分娩件数																
鉗子分娩	159	0.03 (0.19)	0	2	129	0.00 (0.00)	0	0	379	0.01 (0.13)	0	2	—	—	—	—
吸引分娩	161	0.11 (0.40)	0	3	130	0.08 (0.56)	0	6	379	0.07 (0.43)	0	7	—	—	—	—
上記以外	162	2.52 (4.66)	0	42	134	0.58 (0.94)	0	4	393	0.44 (1.01)	0	12	—	—	—	—
全分娩件数のうち、経膈分娩件数（37週以降）																
鉗子分娩	160	0.96 (6.21)	0	72	129	0.53 (1.75)	0	13	396	0.88 (4.15)	0	48	—	—	—	—
吸引分娩	162	2.65 (4.90)	0	35	135	3.76 (4.93)	0	27	419	4.22 (12.73)	0	236	—	—	—	—
上記以外	164	20.93 (24.61)	0	191	138	21.64 (21.15)	0	98	409	19.27 (26.62)	0	371	—	—	—	—
全分娩件数のうち、早産の帝王切開術数																
予定帝王切開術数	162	0.69 (1.35)	0	9	129	0.09 (0.35)	0	3	389	0.08 (0.64)	0	10	—	—	—	—
緊急帝王切開術数	162	2.78 (3.45)	0	23	131	0.37 (0.97)	0	8	391	0.16 (0.67)	0	8	—	—	—	—
全分娩件数のうち、帝王切開術数（37週以降）																
予定帝王切開術数	163	7.45 (6.28)	0	46	139	3.99 (3.40)	0	16	432	3.36 (5.99)	0	102	—	—	—	—
緊急帝王切開術数	163	4.23 (5.14)	0	46	136	3.51 (5.56)	0	56	424	1.86 (3.87)	0	68	—	—	—	—
全分娩件数のうち、無痛分娩件数																
硬膜外麻酔	161	3.90 (12.92)	0	98	134	6.25 (12.67)	0	86	409	6.00 (30.96)	0	601	—	—	—	—
脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔	161	0.91 (3.69)	0	24	130	0.16 (0.98)	0	9	380	0.52 (4.49)	0	63	—	—	—	—
その他の麻酔	160	0.16 (1.03)	0	11	130	0.07 (0.59)	0	6	371	0.36 (2.80)	0	40	—	—	—	—
上記に当てはまらない分娩																
	147	0.51 (1.99)	0	14	120	0.63 (3.58)	0	30	355	1.11 (4.44)	0	35	—	—	—	—
全分娩数のうち院内助産の分娩数																
	153	2.97 (10.33)	0	84	114	2.37 (8.64)	0	53	355	1.66 (8.68)	0	127	—	—	—	—
出産目的で入院する妊産婦の最も多い入院日数																
経膈分娩（初産婦）	162	6.10 (2.76)	0	34	137	5.70 (1.29)	0	10	446	5.30 (0.96)	0	9	—	—	—	—
経膈分娩（経産婦）	162	5.50 (2.46)	0	31	137	5.32 (1.22)	0	10	446	4.89 (0.85)	0	8	—	—	—	—
帝王切開分娩	163	7.64 (2.50)	0	22	135	7.79 (1.88)	0	16	426	7.37 (1.92)	0	13	—	—	—	—

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。分娩数、入院日数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。
※ 分娩件数は、助産所のみ1年間（令和5年9月1日～令和6年8月31日もしくは令和5年10月1日～令和6年9月30日）の分娩件数、それ以外は1か月間（令和6年9月1日～9月30日）の分娩件数を示す。

提供されているサービスと料金

- 「お祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%の施設で提供されていた。一方、助産所では31%であった。「お祝い膳」の料金は、80%以上の施設で入院料等に含まれていた。入院料等に含まれていない施設での「お祝い膳」の設定価格は、平均1,000～2,000円程度であった。
- 「写真撮影」を提供しているのは、総合・地域周産期母子医療センターは19%、それ以外の病院50%、診療所57%、助産所の45%であった。提供している施設の60%以上の施設で、入院料等に含まれていた。含まれていない施設での平均設定価格は、診療所3,083円、それ以外の病院4,508円、助産所5,083円であった。
- 「足形」は、助産所で最も多く提供され（62%）、続いて診療所（56%）であった。提供している施設の70%以上が入院料等の料金に含まれていた。
- 「エステ」は、診療所で50%、助産所で33%、それ以外の病院で24%、総合・地域周産期母子医療センターで7%の施設で提供されていた。どの施設種別でも70%以上が入院料等に含まれていた。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180		それ以外の病院 N=148		診療所 N=465		助産所 N=204	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
お祝い膳								
あり		136 (78.6)		124 (84.4)		346 (75.5)		59 (30.7)
なし	173	27 (15.6)	147	15 (10.2)	458	103 (22.5)	192	128 (66.7)
妊産婦が選択		10 (5.8)		8 (5.4)		9 (2.0)		5 (2.6)
入院料等の他の料金に含まれる		121 (87.1)		113 (87.6)		307 (88.2)		58 (90.6)
含まれない	139	18 (12.9)	129	16 (12.4)	348	41 (11.8)	64	6 (9.4)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	14	1,172円	13	1,099円	30	2,462円	4	2,000円
写真撮影								
あり		32 (18.5)		73 (50.3)		259 (56.7)		89 (45.2)
なし	173	117 (67.6)	145	60 (41.4)	457	136 (29.8)	197	80 (40.6)
妊産婦が選択		24 (13.9)		12 (8.3)		62 (13.6)		28 (14.2)
入院料等の他の料金に含まれる		38 (69.1)		61 (71.8)		229 (72.9)		76 (66.7)
含まれない	55	17 (30.9)	85	24 (28.2)	314	85 (27.1)	114	38 (33.3)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	12	420円	14	4,508円	62	3,083円	24	5,083円
足形								
あり		50 (28.9)		61 (42.7)		257 (56.4)		120 (61.5)
なし	173	117 (67.6)	143	79 (55.2)	456	190 (41.7)	195	61 (31.3)
妊産婦が選択		6 (3.5)		3 (2.1)		9 (2.0)		14 (7.2)
入院料等の他の料金に含まれる		42 (77.8)		49 (80.3)		208 (80.9)		97 (72.9)
含まれない	54	12 (22.2)	61	12 (19.7)	257	49 (19.1)	133	36 (27.1)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	10	888円	6	0円	33	212円	22	261円
エステ（乳房マッサージは除く）								
あり		12 (6.9)		35 (24.0)		225 (49.5)		63 (32.5)
なし	173	155 (89.6)	146	106 (72.6)	455	191 (42.0)	194	112 (57.7)
妊産婦が選択		6 (3.5)		5 (3.4)		39 (8.6)		19 (9.8)
入院料等の他の料金に含まれる		12 (75.0)		31 (77.5)		201 (78.5)		63 (75.9)
含まれない	16	4 (25.0)	40	9 (22.5)	256	55 (21.5)	83	20 (24.1)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	2	1,000円	8	1,969円	50	2,779円	15	3,200円

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 入院料等の他の料金に含まれる/含まれないは、「あり」「妊婦が選択」の場合に回答された。

無痛分娩や検査等と料金

- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で実施されていた。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「先天性代謝異常等検査」および「ビタミンK2」投与は、どの施設種別でも90%以上が実施していた。
- 「新生児聴覚検査」は、総合・地域周産期母子医療センター、それ以外の病院、診療所では、99%以上が実施しており、90%以上の施設が自治体からの補助を受けていた。助産所での実施は47%であった。
- 「新生児1か月健診」は、総合・地域周産期母子医療センター、それ以外の病院、診療所では、94%以上が実施されていた。「自治体からの補助」があったのは60%台であった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180		それ以外の病院 N=148		診療所 N=465		助産所 N=204	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
無痛分娩								
実施あり	176	73 (41.5)	145	69 (47.6)	454	200 (44.1)	—	—
実施なし		103 (58.5)		76 (52.4)		254 (55.9)	—	—
無痛分娩平均設定価格	75	115,340円	67	123,804円	207	85,897円	—	—
先天性代謝異常等検査								
実施あり	173	161 (93.1)	144	139 (96.5)	452	432 (95.6)	199	192 (96.5)
実施なし		12 (6.9)		5 (3.5)		20 (4.4)		7 (3.5)
先天性代謝異常等検査平均設定価格	148	5,047円	122	4,359円	352	4,535円	163	3,690円
新生児聴覚検査								
実施あり	174	174 (100)	146	145 (99.3)	452	448 (99.1)	201	94 (46.8)
実施なし		0 (0)		1 (0.7)		4 (0.9)		107 (53.2)
自治体の補助の有	169	157 (92.9)	139	127 (91.4)	445	411 (92.4)	150	120 (80.0)
自治体の補助の無		12 (7.1)		12 (8.6)		34 (7.6)		30 (20.0)
自治体の平均補助額	151	4,161円	120	3,988円	376	4,171円	92	4,299円
新生児聴覚検査平均設定価格	165	6,284円	136	6,140円	419	5,600円	95	5,919円
ビタミンK2								
実施あり	170	162 (95.3)	142	139 (97.9)	453	451 (99.6)	200	197 (98.5)
実施なし		8 (4.7)		3 (2.1)		2 (0.4)		3 (1.5)
ビタミンK2平均設定価格	143	601円	124	746円	384	1,021円	157	1,249円
新生児1か月健診								
実施あり	172	169 (98.3)	145	141 (97.2)	452	424 (93.8)	201	159 (78.3)
実施なし		3 (1.7)		4 (2.8)		28 (6.2)		42 (20.9)
自治体の補助の有	166	114 (68.7)	136	82 (60.3)	427	258 (60.4)	178	87 (48.9)
自治体の補助の無		52 (31.3)		54 (39.7)		169 (39.6)		91 (51.1)
自治体の平均補助額	104	4,955円	76	5,243円	238	4,943円	75	4,493円
新生児1か月健診平均設定価格	149	4,550円	131	4,465円	391	4,282円	151	4,720円

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

2. 分娩取扱施設の概要

2 - 2. 助産所

助産所の基本情報・入所室概要

- 本調査の対象となった助産所は204件。すべて分娩取扱があり、「入所施設を有する助産所」が78%、「入所施設を有さない助産所」が22%であった。
- 「入所施設を有する助産所」（N=158）の入所定員は、平均3名であった。
- 「入所施設を有する助産所」では、入所定員1名の入所室（個室）は平均2.6室あり、2名の入所室は平均0.5室、3名の入所室0.2室であった。

N = 204

	n	(%)
分娩の取扱の実施状況		
あり	204	(100)
なし	0	(0)
入所施設の有無		
あり	158	(77.5)
なし	44	(21.6)
未回答	2	(1.0)

N=158

	有効回答数	Mean	(SD)	最小	最大
入所定員	156	3.0	(1.7)	1	9
入所室					
入所室／入所定員 1 名の入所室	145	2.6	(1.5)	0	7
入所室／入所定員 2 名の入所室	91	0.5	(1.0)	0	4
入所室／入所定員 3 名の入所室	82	0.2	(0.6)	0	3
入所室／入所定員 4 名以上の入所室	76	0	(0.0)	0	0

※ 入所施設を有する助産所（n=158）による回答である。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

施設・設備等、職員数

- 88%の助産所には「分娩室」があり、設置していないと回答した助産所は、「入所室」と「分娩室」を分けていなかった。58%が「新生児沐浴室」を設置していた。「給食設備」は80%が設置していた。
- 助産所における「助産師数」の平均は、常勤1.4名、非常勤2.2名であった。

N = 158		
	n	(%)
分娩室		
あり	139	(88.0)
なし	17	(10.8)
未回答	2	(1.3)
入所室と分娩室を分けている (n=17)		
いる	0	(0.0)
いない	17	(100.0)
未回答	0	(0.0)
新生児室		
あり	17	(10.8)
なし	139	(88.0)
未回答	2	(1.2)
新生児沐浴室		
あり	91	(57.6)
なし	65	(41.1)
未回答	2	(1.3)
給食設備		
あり	127	(80.4)
なし	30	(19.0)
未回答	1	(0.6)

※ 入所施設を有する助産所 (n=158) による回答である。

N = 204					
	有効回答数	mean	SD	最小	最大
常勤勤務の週あたりの勤務時間数					
	167	41.2	(39.4)	0	414
助産師					
常勤	199	1.4	(1.2)	0	10
非常勤 (常勤換算)	186	2.2	(2.8)	0	22
看護師					
常勤	176	0.0	(0.2)	0	2
非常勤 (常勤換算)	176	0.1	(0.4)	0	2
准看護師					
常勤	175	0.0	(0.0)	0	0
非常勤 (常勤換算)	173	0.0	(0.1)	0	1
看護補助者					
常勤	175	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	177	0.1	(0.5)	0	4
管理栄養士					
常勤	173	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	173	0.1	(0.3)	0	2
栄養士					
常勤	175	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	174	0.1	(0.3)	0	3
その他の職員					
常勤	177	0.2	(0.7)	0	6
非常勤 (常勤換算)	181	1.2	(2.8)	0	32

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

勤務体制

- 助産所において入所者が1名の場合、助産師は平均1.5名が勤務しており、最も少ない助産所では1名であった。夜勤帯でも、助産師は平均1.1名の勤務となっていた。

N = 158

	n	(%)	Mean	(SD)	最小	最大
入所者がいない場合（日勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=158)	—	—	1.4	(0.78)	0	5.0
看護師 (n=133)	—	—	0.1	(0.55)	0	6.0
その他 (n=139)	—	—	0.5	(0.96)	0	7.0
入所者がいない場合（夜勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=155)	—	—	0.7	(0.58)	0	3.4
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.00)	0	0.0
その他 (n=134)	—	—	0.1	(0.22)	0	1.0
入所者が1名の場合（日勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=157)	—	—	1.5	(0.75)	1	5.0
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.20)	0	1.16
その他 (n=143)	—	—	0.8	(0.96)	0	7.0
入所者が1名の場合（夜勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=157)	—	—	1.1	(0.39)	0	3.4
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.09)	0	1.0
その他 (n=134)	—	—	0.2	(0.58)	0	5.0
入所者が2名以上の場合（日勤帯／常勤換算）						
2名以上入所することはない (n=157)						
はい	38	(24.1)	—	—	—	—
いいえ	119	(75.3)	—	—	—	—
助産師 (n=129)	—	—	1.8	(0.84)	0	5.0
看護師 (n=108)	—	—	0.1	(0.25)	0	1.0
その他 (n=121)	—	—	0.9	(1.03)	0	7.0
入所者が2名以上の場合（夜勤帯／常勤換算）						
2名以上入所することはない (n=157)						
はい	40	(25.3)	—	—	—	—
いいえ	117	(74.1)	—	—	—	—
助産師 (n=128)	—	—	1.2	(0.49)	0.0	3.4
看護師 (n=107)	—	—	0.0	(0.19)	0.0	1.0
その他 (n=113)	—	—	0.2	(0.63)	0.0	5.0

※ 入所施設を有する助産所（n = 158）による回答である。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

分娩時の体制

- 分娩時の体制として、「自院の助産師で複数人体制としている」のが**44%**、「自院と他院の助産師にて複数人体制としている」のが**48%**であり、「助産師が一人に対応している」という助産所はなかった。
- 他施設の助産師への支払い方法で最も多かったのは、「産婦 1 名毎に依頼し支払い」が**35%**であり、続いて「時給」（7%）、「日給」（4%）、「月給」（1%）であった。

N = 204

	n	(%)
分娩時の体制（n=202）		
自院の助産師で複数人体制を確保している	89	(43.6)
自院の助産師と他助産所の助産師による複数人体制を確保している※	98	(48.0)
自院の助産師と他医療機関の助産師による複数人体制を確保している※	10	(4.9)
助産師が一人に対応している	0	(0)
その他	5	(2.5)
※の場合においての他施設の助産師への支払い方法（n = 106）		
産婦 1 名毎に依頼し支払い	72	(35.3)
時給	15	(7.4)
日給	8	(3.9)
月給	2	(1.0)
その他	9	(4.4)

嘱託医師・嘱託医療機関等との連携体制

- すべての助産所は、「嘱託医師あるいは嘱託医療機関」があった（未回答2施設除く）。
- 「嘱託医師数」、「嘱託医療機関数」とも平均は1.5件であり、「連携医療機関数」は平均1.7件であった。
- 「嘱託医師・嘱託医療機関、連携医療機関との出産予定妊婦に関する定期的な情報共有」は、84%の助産所が行っていた。「事例検討会・勉強会・研修会等」には、58%の助産所が参加していた。

N = 204

		n	(%)	Mean	(SD)	最小	最大
嘱託医師あるいは嘱託医療機関							
	あり	202	(99.0)	—	—	—	—
	なし	0	(0.0)	—	—	—	—
	未回答	2	(1.0)	—	—	—	—
嘱託医師数 (n=193)		—	—	1.5	(1.35)	0	14
嘱託医療機関数 (n=200)		—	—	1.5	(1.04)	0	10
連携医療機関数 (n=189)		—	—	1.7	(1.91)	0	20
嘱託医師・嘱託医療機関、連携医療機関との出産予定妊婦に関する定期的な情報共有							
	あり	171	(83.8)	—	—	—	—
	なし	30	(14.7)	—	—	—	—
	未回答	3	(1.5)	—	—	—	—
嘱託医師・嘱託医療機関等、連携医療機関が開催する事例検討会・勉強会・研修会等への参加							
	あり	118	(57.8)	—	—	—	—
	なし	82	(40.2)	—	—	—	—
	未回答	4	(2.0)	—	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

分娩件数等

- 助産所における1年間の「分娩件数」の平均は13件。「初産婦」3件、「経産婦」10件で「経産婦」の方が多
い。
- 分娩場所別では、「自助産所内での分娩」が最も多く平均11.7件、続いて「自宅等への出張分娩」が1.4件、
「オープンシステムによる分娩」は0.6件であった。
- 「母体搬送」の平均件数は、分娩第1期中は0.7件、第2期中は0.1件、第3期0.1件、第4期0.2件であった。

N = 204

	Mean	(SD)	最小	最大
全分娩件数 (n=196)	12.7	(13.7)	0	85
初産婦 (n=189)	2.86	(3.8)	0	20
経産婦 (n=192)	10.16	(10.5)	0	69
分娩件数 (分娩場所別)				
自助産所内での分娩 (n=184)	11.7	(14.0)	0	85
オープンシステムによる病院、診療所、他助産所での分娩 (n=168)	0.55	(3.8)	0	48
自宅等への出張分娩 (n=186)	1.38	(2.5)	0	15
その他 (n=160)	0.05	(0.4)	0	4
母体搬送件数 (分娩期)				
分娩第1期中の搬送 (n=188)	0.68	(1.3)	0	8
分娩第2期中の搬送 (n=178)	0.11	(0.4)	0	3
分娩第3期中の搬送 (n=177)	0.07	(0.3)	0	1
分娩第4期中の搬送 (n=179)	0.16	(0.5)	0	3
搬送件数 (産褥期) (n=190)	0.06	(0.3)	0	2
新生児搬送件数 (n=188)	0.32	(0.7)	0	4
1か月間の1日平均入所者数 (n=173)	1.08	(3.6)	0	30
9月1日時点における新生児数 (n=174)	0.68	(2.6)	0	30
他助産所等の入所者の分娩のサポート件数 (n=197)	2.11	(4.7)	0	25

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

2. 分娩取扱施設の概要 まとめ

- 「夜勤帯・休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆け付けることができるように待機している人数（院内）」については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院と診療所が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターで最も多かった。「院外」での待機については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は同数であり、「麻酔科医師」は総合・地域周産期母子医療センターで多かった。
- 1か月間の「全分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。
- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で実施されていた。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「出産目的で入院する妊産婦の最も多くみられる入院日数」は、帝王切開分娩で平均7日程度、経膣分娩で初産婦5～6日程度、経産婦5日程度であり、施設種別で大きな差はなかった。
- 「祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%、助産所で31%で提供されていた。料金は、80%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 「写真撮影」を提供しているのは、総合・地域周産期母子医療センターは19%、それ以外の病院50%、診療所57%、助産所の45%であった。提供している施設の60%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 「エステ」は、診療所で50%、助産所で33%、それ以外の病院で24%、総合・地域周産期母子医療センターで7%で提供されていた。料金は、70%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。

（助産所）

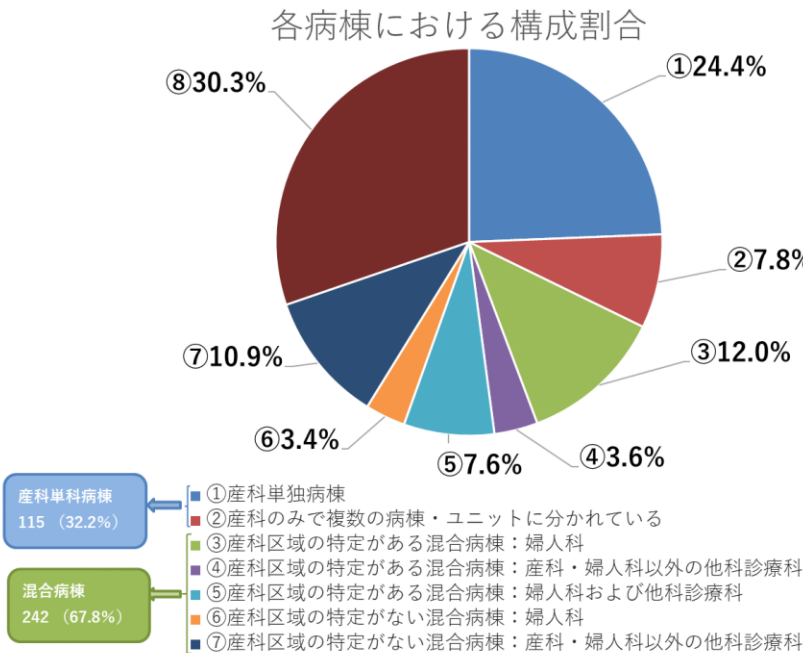
- 本調査の対象となった助産所は204件。すべて分娩取扱があり、「入所施設を有する助産所」が78%、「入所施設を有さない助産所」が22%であった。「入所施設を有する助産所」の入所定員は、平均3名であった。
- 助産所における1年間の分娩取扱件数の平均は13件。「初産婦」3件、「経産婦」10件で「経産婦」の方が多い。
- 分娩場所別では、「自助産所内での分娩」が最も多く平均11.7件、続いて「自宅等への出張分娩」が1.4件、「オープンシステムによる分娩」は0.6件であった。「母体搬送」件数は、分娩第1期中は平均0.7件、第2期中は平均0.1件、第3期0.1件、第4期0.2件であった。
- 分娩時の体制として、「自院の助産師で複数人体制としている」のが44%、「自院と他院の助産師にて複数人体制としている」のが48%であり、「助産師が一人に対応している」という助産所はなかった。

3. 病棟（ユニット）における医療提供体制

基本情報：病棟（ユニット）票

- 「病棟（ユニット）票」は病院を対象として調査を実施し、325件（総合・周産期母子医療センター142件、それ以外の病院183件）からの回答があり、1施設あたりの「病棟・ユニット数」の平均は1.1、「1病棟・ユニット当たりの病床数」の平均は30床であった。
- 病棟構成全般をみると、「混合病棟」が68%と多く、なかでも「婦人科および他科診療科での混合病棟」が38%となっていた。

	回答施設数	回答病棟・ユニット数 (計)	1病院当たり平均回答病棟・ユニット数	各施設における1病棟・ユニット当たりの病床数
総合・地域周産期母子医療センター	142	181	1.3	28.3
それ以外の病院	183	186	1.0	31.2
計	325	367	1.1	29.8



		総合・地域周産期母子医療センター	それ以外の病院	計※注1
産科単科病棟（計）	件数	86	29	115
	割合※注2	49.1%	15.9%	32.2%
	産科単独病棟	件数	29	87
	割合※注2	33.1%	15.9%	24.4%
産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている	件数	28	—	28
	割合※注2	16.0%	—	7.8%
混合病棟（計）	件数	89	153	242
	割合※注2	50.9%	84.1%	67.8%
	産科区域の特定がある混合病棟	件数	49	83
	割合※注2	19.4%	26.9%	23.2%
	婦人科	件数	29	43
	割合※注2	8.0%	15.9%	12.0%
	産科・婦人科以外の他科診療科	件数	8	13
	割合※注2	2.9%	4.4%	3.6%
	婦人科および他科診療科	件数	12	27
	割合※注2	8.6%	6.6%	7.6%
	産科区域の特定がない混合病棟	件数	104	159
	割合※注2	31.4%	57.1%	44.5%
産科区域の特定がない混合病棟	婦人科	件数	8	12
	割合※注2	2.3%	4.4%	3.4%
	産科・婦人科以外の他科診療科	件数	29	39
	割合※注2	5.7%	15.9%	10.9%
	婦人科および他科診療科	件数	67	108
	割合※注2	23.4%	36.8%	30.3%
計※注1		件数	175	357
		割合※注2	100.0%	100.0%

※注1 χ^2 検定の結果 (Pearson $\chi^2(3) = 54.9283$ $Pr = 0.000$) から総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院での病棟構成の差は統計的に有意

※注2 各病棟種別内での分娩施設の割合

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

病床数と入院料＋室料差額

- 「全室個室」の割合は、総合・地域周産母子医療センターで19%、それ以外の病院で25%だった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い傾向にあり、かつ、個室と2床室との差も若干大きい。

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計	
全室個室	標本数	174	177	351	
	件数	33	44	77	
	割合	19.0%	24.9%	21.9%	
個室					
	病床数（床）	標本数	163	171	334
		平均値	5.6	6.8	6.2
		標準偏差	4.2	5.7	5.1
	1日当たりの料金 （円）	標本数	152	164	316
		平均値	43,233	25,107	33,826
		標準偏差	58,639	21,534	44,391
2床室					
	病床数	標本数	32	50	82
		平均値	4.5	4.8	4.7
		標準偏差	5.0	3.9	4.3
	1日当たりの料金 （円）	標本数	28	38	66
		平均値	37,515	22,003	28,584
		標準偏差	42,138	19,725	31,917
入院患者のべ数 （令和6年9月1日～9月30日）		標本数	153	147	300
		平均値	534.8	405.9	471.6
		標準偏差	372.0	329.5	357.1

※注 1 病床数が99%パーセンタイル以上を外れ値として処理

病棟（ユニット）に配置されている職員数

- 常勤の助産師・看護師については、総合・地域周産期母子医療センターの方が、それ以外の病院に比べ人数が多い一方で、非常勤職員及び准看護師・看護補助者・保育士については両群で差はなかった。

			総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
助産師					
常勤		標本数	177	179	356
		平均値	25.4	14.3	19.8
		標準偏差	12.7	9.0	12.3
非常勤（常勤換算）		標本数	165	173	338
		平均値	1.0	1.6	1.3
		標準偏差	1.7	2.8	2.4
看護師					
常勤		標本数	171	179	350
		平均値	75.2	37.3	55.8
		標準偏差	168.0	95.0	136.8
非常勤（常勤換算）		標本数	163	167	330
		平均値	1.5	1.5	1.5
		標準偏差	3.8	4.7	4.3
准看護師					
常勤		標本数	162	171	333
		平均値	0.3	0.8	0.5
		標準偏差	2.1	1.5	1.9
非常勤（常勤換算）		標本数	161	162	323
		平均値	0.1	0.1	0.1
		標準偏差	0.5	0.4	0.5
看護補助者					
常勤		標本数	164	172	336
		平均値	4.4	4.0	4.2
		標準偏差	11.3	8.4	9.9
非常勤（常勤換算）		標本数	165	167	332
		平均値	4.1	1.9	3.0
		標準偏差	10.6	4.0	8.1
保育士					
常勤		標本数	160	160	320
		平均値	0.3	0.2	0.2
		標準偏差	1.1	0.7	0.9
非常勤（常勤換算）		標本数	157	159	316
		平均値	0.1	0.05	0.1
		標準偏差	0.4	0.3	0.3

分娩期・産褥期の医師数、医師の対応時間

- 「分娩期、産褥入院中の医師数、医師の対応時間」について、総合・地域周産期母子医療センターがそれ以外の病院と比べ、人数・時間ともに数は大きかったが、標準偏差からばらつきも大きい。
- 「産婦人科医師」については、診療業務に従事した医師数、医師の対応時間ともに、「産褥入院中」に比べて「分娩期」の方が多かった。
- 「小児科・新生児科医師」については、医師の対応時間が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 113 標準偏差 117	18 50 48	47 89 101
(うち) 産婦人科医師	標本数	26	17	43
	平均値	69	32	55
	標準偏差	73	24	61
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	26	17	43
	平均値	24	9	18
	標準偏差	23	14	21
(うち) 麻酔科医師	標本数	26	16	42
	平均値	29	11	22
	標準偏差	30	15	27
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	24	16	40
	平均値	4	1	3
	標準偏差	12	3	9
分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 446 標準偏差 809	18 288 483	47 385 701
(うち) 産婦人科医師	標本数	22	14	36
	平均値	505	328	436
	標準偏差	857	518	740
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	22	13	35
	平均値	18	13	17
	標準偏差	19	31	24
(うち) 麻酔科医師	標本数	21	13	34
	平均値	62	28	49
	標準偏差	76	57	71
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	21	13	34
	平均値	5	3	4
	標準偏差	22	10	18

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
産褥入院中の産婦の診療業務に従事した全医師数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 76 標準偏差 89	18 31 40	47 59 77
(うち) 産婦人科医師	標本数	25	14	39
	平均値	54	23	43
	標準偏差	59	16	50
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	25	13	38
	平均値	23	9	18
	標準偏差	37	16	32
(うち) 麻酔科医師	標本数	24	13	37
	平均値	8	8	8
	標準偏差	13	17	14
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	23	13	36
	平均値	3	0	2
	標準偏差	5	1	4
産褥入院中の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 234 標準偏差 521	18 120 212	47 190 430
(うち) 産婦人科医師	標本数	22	13	35
	平均値	163	140	155
	標準偏差	276	212	251
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	22	12	34
	平均値	138	20	96
	標準偏差	546	60	441
(うち) 麻酔科医師	標本数	21	12	33
	平均値	4	7	5
	標準偏差	7	18	12
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	21	12	33
	平均値	3	0.3	2
	標準偏差	8	1	6

※注 1 1週間のデータを記録した施設について、1カ月間の概算を算出するため4倍とした

産科の患者の入院割合、看護職の従事時間等

- 「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%だった。
- 「看護職」は、総合・地域周産期母子医療センターの方が、それ以外の病院と比べ、労働時間数が長い、標準偏差からばらつきも大きかった。
- 「看護職」については、ケアに従事した時間数が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

※注 1			総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計	
病棟（ユニット）における産科の患者の入院割合 （令和6年9月1日～9月30日）			標本数	76	63	139
			平均値	60.4%	47.0%	54.3%
			標準偏差	39.1%	34.1%	37.4%
全看護職の総労働時間数 （令和6年9月1日～9月30日）			標本数	93	72	165
			平均値	2,244	1,103	1,746
			標準偏差	6,496	3,290	5,355
分娩期のケア						
	全看護職の分娩期のケアに従事した時間数		標本数	33	14	47
			平均値	1,486	868	1,302
			標準偏差	4,724	994	3,986
	（うち）助産師が分娩期の ケアに従事した時間数	標本数	30	14	44	
		平均値	629	731	662	
		標準偏差	777	797	776	
産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）						
	全看護職の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数		標本数	32	15	47
			平均値	1,622	1,968	1,732
			標準偏差	1,791	2,461	2,008
	（うち）助産師が産褥入院中（新生児含む）に従事した時間数	標本数	29	15	44	
		平均値	1,543	1,481	1,522	
		標準偏差	1,507	2,276	1,779	
産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）実施有			標本数	81	64	145
			件数	62	59	121
			割合	76.5%	92.2%	83.4%

※ 注 1 1週間のデータを記録した施設について、1カ月間の概算を算出するため4倍とした
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

3. 病棟（ユニット）における医療提供体制 まとめ

- 「病棟（ユニット）票」は病院を対象として調査を実施し、325件（総合・周産期母子医療センター142件、それ以外の病院183件）からの回答があり、1施設あたりの「病棟・ユニット数」は約1.1、「1病棟・ユニット当たりの病床数」は約30床であった。
- 病棟構成全般をみると、「混合病棟」が68%と多く、なかでも「婦人科および他科診療科での混合病棟」が38%であった。
- 「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%であった。
- 「全室個室」の割合は、総合・地域周産母子医療センターで19%、それ以外の病院で25%だった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い。
- 「産婦人科医師」については、診療業務に従事した医師数、医師の対応時間ともに、「産褥入院中」に比べて「分娩期」の方が多かった。「小児科・新生児科医師」については、医師の対応時間が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。
- 「看護職」については、ケアに従事した時間数が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

4. 患者（産婦）票の結果について

分娩の状況

- 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。
- 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
総合・地域周産期母子医療センター	件数	18	14	99	131
	割合※注 2	13.7%	10.7%	75.6%	100.0%
	割合※注 3	34.6%	18.7%	18.7%	19.9%
それ以外の病院	件数	7	9	107	123
	割合※注 2	5.7%	7.3%	87.0%	100.0%
	割合※注 3	13.5%	12.0%	20.2%	18.7%
診療所	件数	27	52	324	403
	割合※注 2	6.7%	12.9%	80.4%	100.0%
	割合※注 3	51.9%	69.3%	61.1%	61.3%
計※注 1	件数	52	75	530	657
	割合※注 2	7.9%	11.4%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膣分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(4) = 10.8246$ Pr = 0.029）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各分娩施設内での分娩状況の割合

※注 3 各分娩状況内の分娩施設の割合

分娩状況の割合（分娩経験別）

- 「帝王切開」の割合は、経産婦（7.5%）よりも初産婦（8.3%）がやや高いが、「無痛分娩」の割合は、経産婦（11.9%）と初産婦（11%）とでほぼ差がない。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
初産婦	件数	28	37	271	336
	割合※注 2	8.3%	11.0%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	53.9%	49.3%	51.3%	51.3%
経産婦	件数	24	38	257	319
	割合※注 2	7.5%	11.9%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	46.2%	50.7%	48.7%	48.7%
計※注 1	件数	52	75	528	655
	割合※注 2	7.9%	11.5%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膣分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(2) = 0.2512$ Pr = 0.882）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩状況内での出産経験の割合

分娩施設の割合（分娩経験別）

- 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高い。
- 助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高い。
- 分娩経験の有無にかかわらず、45%が診療所で出産している。

		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	診療所	助産所	計 ※注 1
初産婦	件数	74	67	195	64	400
	割合※注 2	18.5%	16.8%	48.8%	16.0%	100.0%
	割合※注 3	56.5%	54.5%	48.6%	26.5%	44.6%
経産婦	件数	57	56	206	178	497
	割合※注 2	11.5%	11.3%	41.5%	35.8%	100.0%
	割合※注 3	43.5%	45.5%	51.4%	73.6%	55.4%
計※注 1	件数	131	123	401	242	897
	割合※注 2	14.6%	13.7%	44.7%	27.0%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(3) = 47.2573$ Pr = 0.000）から出産経験有無別の出産施設の割合の差は統計的に有意である

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩施設内での出産経験の割合

同一都道府県内の分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩経験別）

- 分娩経験によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
北海道	9	8	89%	10	10	100%	0	19	18	95%
青森県	3	3	100%	3	2	67%	0	6	5	83%
岩手県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
宮城県	5	3	60%	5	5	100%	0	10	8	80%
秋田県	1	1	100%	2	2	100%	0	3	3	100%
山形県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
福島県	6	6	100%	7	6	86%	0	13	12	92%
茨城県	12	11	92%	6	6	100%	0	18	17	94%
栃木県	8	8	100%	10	10	100%	0	18	18	100%
群馬県	5	5	100%	2	2	100%	0	7	7	100%
埼玉県	23	17	74%	18	17	94%	0	41	34	83%
千葉県	11	9	82%	9	6	67%	1	21	15	75%
東京都	29	23	79%	36	30	83%	1	66	53	82%
神奈川県	19	16	84%	28	26	93%	0	47	42	89%
新潟県	3	3	100%	5	5	100%	0	8	8	100%
富山県	3	3	100%	3	3	100%	0	6	6	100%
石川県	9	8	89%	5	5	100%	0	14	13	93%
福井県	9	8	89%	0	0	—	0	9	8	89%
山梨県	6	6	100%	6	6	100%	0	12	12	100%
長野県	9	9	100%	21	20	95%	1	31	29	97%
岐阜県	7	5	71%	6	6	100%	0	13	11	85%
静岡県	6	6	100%	13	12	92%	0	19	18	95%
愛知県	17	14	82%	35	34	97%	0	52	48	92%

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
三重県	5	3	60%	4	4	100%	0	9	7	78%
滋賀県	5	5	100%	6	5	83%	0	11	10	91%
京都府	5	5	100%	8	7	88%	0	13	12	92%
大阪府	24	21	88%	35	31	89%	1	60	52	88%
兵庫県	20	15	75%	16	16	100%	0	36	31	86%
奈良県	3	3	100%	9	8	89%	0	12	11	92%
和歌山県	3	2	67%	4	4	100%	0	7	6	86%
鳥取県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
島根県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
岡山県	8	7	88%	12	12	100%	0	20	19	95%
広島県	5	4	80%	15	15	100%	0	20	19	95%
山口県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
香川県	6	6	100%	4	4	100%	0	10	10	100%
愛媛県	2	2	100%	5	5	100%	0	7	7	100%
高知県	0	0	—	1	1	100%	0	1	1	100%
福岡県	16	13	81%	25	24	96%	0	41	37	90%
佐賀県	6	6	100%	5	3	60%	0	11	9	82%
長崎県	4	3	75%	7	6	86%	0	11	9	82%
熊本県	0	0	—	2	2	100%	0	2	2	100%
大分県	5	4	80%	9	9	100%	0	14	13	93%
宮崎県	4	3	75%	11	10	91%	0	15	13	87%
鹿児島県	5	3	60%	13	12	92%	0	18	15	83%
沖縄県	8	6	75%	13	12	92%	0	21	18	86%
都道府県不詳	54	—	—	37	—	—	3	94	—	—
計	399	294	74%	497	429	86%	7	903	723	81%

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。
※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

同一都道府県内の分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩状況別）

- 分娩の状況によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開			無痛 分娩			その 他の 分娩		
		同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1		同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1		同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
北海道	1	1	100%	3	3	100%	15	14	93%
青森県	2	2	100%	0	0	—	4	3	75%
岩手県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
宮城県	1	0	0%	2	2	100%	7	6	86%
秋田県	0	0	—	0	0	—	3	3	100%
山形県	0	0	—	2	2	100%	6	6	100%
福島県	0	0	—	1	1	100%	12	11	92%
茨城県	2	2	100%	0	0	—	16	15	94%
栃木県	1	1	100%	0	0	—	17	17	100%
群馬県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
埼玉県	3	3	100%	4	4	100%	34	27	79%
千葉県	0	0	—	1	1	100%	20	15	75%
東京都	1	1	100%	8	8	100%	57	45	79%
神奈川県	2	2	100%	12	11	92%	33	29	88%
新潟県	1	1	100%	0	0	—	7	7	100%
富山県	0	0	—	1	1	100%	5	5	100%
石川県	1	0	0%	1	1	100%	12	12	100%
福井県	2	2	100%	0	0	—	7	6	86%
山梨県	1	1	100%	0	0	—	11	11	100%
長野県	0	0	—	0	0	—	31	30	97%
岐阜県	0	0	—	0	0	—	13	11	85%
静岡県	1	1	100%	0	0	—	18	17	94%
愛知県	2	2	100%	4	3	75%	46	43	93%

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		無痛 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		その 他の 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	
		% ※注 1			% ※注 1			% ※注 1	
三重県	0	0	—	1	0	0%	8	7	88%
滋賀県	1	1	100%	0	0	—	10	9	90%
京都府	0	0	—	3	3	100%	10	9	90%
大阪府	3	3	100%	5	4	80%	52	46	88%
兵庫県	2	2	100%	2	2	100%	32	27	84%
奈良県	0	0	—	0	0	—	12	11	92%
和歌山県	1	0	0%	0	0	—	6	6	100%
鳥取県	2	2	100%	0	0	—	6	6	100%
島根県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
岡山県	0	0	—	1	1	100%	19	18	95%
広島県	2	2	100%	1	1	100%	17	16	94%
山口県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	—
香川県	0	0	—	0	0	—	10	10	100%
愛媛県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
高知県	0	0	—	0	0	—	1	1	100%
福岡県	4	4	100%	5	5	100%	32	28	88%
佐賀県	1	1	100%	2	0	0%	8	8	100%
長崎県	0	0	—	0	0	—	11	9	82%
熊本県	0	0	—	0	0	—	2	2	100%
大分県	0	0	—	0	0	—	14	13	93%
宮崎県	0	0	—	2	1	50%	13	12	92%
鹿児島県	2	2	100%	4	4	100%	12	9	75%
沖縄県	0	0	—	2	1	50%	19	17	89%
都道府県不詳	11	—	—	8	—	—	75	—	—
計	52	38	73%	75	59	79%	776	630	81%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。

産婦の年齢等（分娩状況別・分娩経験別）

- 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短い。
- 「初産婦」は「経産婦」と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	27	24	51	37	38	75	330	435	770	394	497	896
	平均値	31.7	33.0	32.3	31.2	33.2	32.2	29.3	32.6	31.2	29.6	32.6	31.3
	標準偏差	5.3	3.0	4.4	4.8	4.2	4.6	4.8	4.9	5.1	4.9	4.7	5.0
身長	標本数	28	24	37	37	38	75	332	430	767	397	492	894
	平均値	156.4	158.1	157.2	159.8	160.0	159.9	158.3	158.4	158.3	158.3	158.5	158.4
	標準偏差	7.9	6.4	7.2	5.4	5.8	5.6	5.4	5.6	5.5	5.6	5.7	5.6
非妊時体重	標本数	27	22	49	37	38	75	331	431	767	395	491	891
	平均値	56.3	54.5	55.5	54.0	55.6	54.8	54.0	54.0	54.0	54.2	54.1	54.2
	標準偏差	10.2	7.9	9.2	9.2	10.7	9.9	10.4	8.6	9.4	10.3	8.8	9.5
出産時の妊娠週数	標本数	28	24	52	37	38	75	334	433	772	399	495	899
	平均値	39.7	38.2	39.0	39.3	38.9	39.1	39.6	39.4	39.5	39.5	39.3	39.4
	標準偏差	1.2	1.2	1.4	1.1	1.0	1.1	1.2	2.1	1.8	1.2	2.1	1.7
母親の在院日数	標本数	28	24	52	37	38	75	322	395	721	387	457	848
	平均値	9.3	8.4	8.9	7.0	5.9	6.4	6.3	5.5	5.8	6.5	5.6	6.1
	標準偏差	2.7	1.5	2.2	1.3	0.8	1.2	1.6	2.6	2.3	1.9	2.6	2.3
社会的ハイリスクへの該当有(%)	標本数	0	0	0	37	38	75	334	435	776	399	497	904
	件数	0	0	0	4	1	5	24	12	36	28	13	41
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	2.6%	6.5%	7.2%	2.8%	4.6%	7.0%	2.6%	4.5%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

産婦の年齢等（分娩施設別・分娩経験別）

- 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「非妊時体重」が重く、「妊娠週数」が短く、「在院日数」が長い。
- 分娩施設によらず、「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦が高い。
- 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高い。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	73	56	130	66	56	122	194	206	402	61	178	242
	平均値	31.3	33.8	32.4	30.1	31.7	30.8	29.0	32.0	30.6	29.1	33.3	32.2
	標準偏差	5.6	4.2	5.1	5.1	4.8	5.0	4.4	4.5	4.7	4.8	5.0	5.2
身長	標本数	74	57	131	67	56	123	195	205	402	61	174	238
	平均値	158.3	159.0	158.6	157.6	157.5	157.6	158.5	158.6	158.5	158.2	158.4	158.4
	標準偏差	5.8	5.7	5.7	6.1	5.4	5.8	5.4	5.9	5.7	5.7	5.5	5.5
非妊時体重	標本数	73	57	130	65	53	118	195	205	402	62	176	241
	平均値	56.2	55.2	55.8	54.2	55.8	54.9	53.4	54.8	54.2	54.3	52.4	53.0
	標準偏差	12.0	9.8	11.1	8.2	10.9	9.5	7.9	8.7	8.3	15.4	7.5	10.1
出産時の妊娠週数	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	63	177	243
	平均値	39.2	38.6	39.0	39.5	39.1	39.3	39.6	39.3	39.4	39.8	39.5	39.6
	標準偏差	1.5	1.7	1.6	1.2	0.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	3.0	2.6
母親の在院日数	標本数	74	57	131	67	56	123	191	205	398	55	139	196
	平均値	7.7	6.7	7.2	7.1	6.3	6.7	6.6	6.1	6.3	4.3	4.4	4.4
	標準偏差	2.3	1.5	2.0	1.4	1.0	1.3	1.3	2.8	2.2	1.3	2.5	2.2
社会的ハイリスク への該当有(%)	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	—	—	—
	件数	13	2	15	5	3	8	10	8	18	—	—	—
	割合	17.6%	3.5%	11.5%	7.5%	5.4%	6.5%	5.1%	3.9%	4.5%	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 助産所票には「社会的ハイリスクへの該当の有無」についての質問項目無し

入院経路、分娩時間（分娩状況別・分娩経験別）

- その他の分娩の主な入院経路で最も多かったのは「陣痛発来」で約67%、無痛分娩では「無痛分娩目的」が約35%と最も高く、帝王切開では、いずれにも区分されない「その他の入院経路」が約半数を示していた。
- 「入院から分娩第3期終了までの時間」は、無痛分娩のほうがその他の分娩より長かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計			
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	
主な入院経路（1つのみ選択）															
	陣痛発来	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	3	4	7	15	7	22	193	311	508	211	322	537	
		割合	12.0%	21.1%	15.9%	40.5%	18.9%	29.7%	58.8%	72.3%	66.5%	54.1%	66.3%	60.9%	
	前期破水	標本数	25	－	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	7	－	7	10	2	12	79	61	141	96	63	160	
		割合	28.0%	－	15.9%	27.0%	5.4%	16.2%	24.1%	14.2%	18.5%	24.6%	13.0%	18.1%	
	計画分娩	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	4	1	5	2	7	9	38	45	84	44	53	98	
		割合	16.0%	5.3%	11.4%	5.4%	18.9%	12.2%	11.6%	10.5%	11.0%	11.3%	10.9%	11.1%	
	無痛分娩目的	標本数	25	－	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	1	－	1	8	18	26	1	1	2	10	19	29	
		割合	4.0%	－	2.3%	21.6%	48.6%	35.1%	0.3%	0.2%	0.3%	2.6%	3.9%	3.3%	
	その他	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	10	14	24	2	3	5	17	12	29	29	29	58	
		割合	40.0%	73.7%	54.5%	5.4%	8.1%	6.8%	5.2%	2.8%	3.8%	7.4%	6.0%	6.6%	
	分娩時間（分）														
		第1期	標本数	－	－	－	35	38	73	323	421	749	365	461	831
			平均値	－	－	－	625.6	254.2	432.3	629.0	303.8	443.6	624.8	298.8	441.6
標準偏差			－	－	－	464.8	152.0	385.8	470.5	214.9	384.0	467.3	210.8	383.2	
第2期		標本数	－	－	－	34	38	72	322	419	746	361	459	825	
		平均値	－	－	－	118.4	38.0	75.9	69.8	23.8	43.6	74.2	24.9	46.4	
		標準偏差	－	－	－	100.0	40.4	84.5	104.9	75.5	92.0	104.9	73.2	91.6	
第3期		標本数	－	－	－	34	38	72	324	428	758	368	473	847	
		平均値	－	－	－	6.3	6.1	6.2	10.9	9.7	10.2	10.3	9.5	9.8	
		標準偏差	－	－	－	4.4	4.6	4.5	27.0	21.7	24.1	25.5	20.9	22.9	
入院から分娩第3期終了までの時間 （分）		標本数	－	－	－	34	37	71	320	426	751	367	469	841	
		平均値	－	－	－	1471.4	759.0	1100.1	852.8	420.8	603.6	951.7	449.3	667.2	
		標準偏差	－	－	－	1142.2	631.3	973.9	815.9	449.7	666.6	939.9	478.8	758.8	
第3期終了から帰室までの時間 （分）	標本数	－	－	－	34	38	72	315	407	726	362	452	818		
	平均値	－	－	－	164.1	197.6	181.8	161.3	160.1	160.4	161.2	161.8	161.3		
	標準偏差	－	－	－	85.6	102.1	95.5	149.8	112.4	129.6	145.9	111.8	127.7		

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

入院経路、分娩時間（分娩施設別（病院・診療所）・分娩経験別）

- 分娩施設別にみると、施設にかかわらず、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- 総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、初産婦より経産婦の方が「計画分娩」の割合が高い。
- 初産婦の「分娩時間」の平均値について、分娩第1期はそれ以外の病院（640分）、診療所（605分）、総合・地域周産期母子医療センター（587分）の順に長いですが、分娩第2期は総合・地域周産期母子医療センター（119分）、診療所（65分）、それ以外の病院（47分）の順に長くなっている。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）											
陣痛発来	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	30	17	47	30	33	63	99	117	217	
	割合	42.3%	32.1%	37.9%	46.2%	58.9%	52.1%	51.3%	57.9%	54.7%	
前期破水	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	24	12	36	21	5	26	43	30	73	
	割合	33.8%	22.6%	29.0%	32.3%	8.9%	21.5%	22.3%	14.9%	18.4%	
計画分娩	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	11	13	24	6	12	18	26	24	51	
	割合	15.5%	24.5%	19.4%	9.2%	21.4%	14.9%	13.5%	11.9%	12.8%	
無痛分娩目的	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	2	5	7	2	2	4	6	12	18	
	割合	2.8%	9.4%	5.6%	3.1%	3.6%	3.3%	3.1%	5.9%	4.5%	
その他	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	4	6	10	6	4	10	19	19	38	
	割合	5.6%	11.3%	8.1%	9.2%	7.1%	8.3%	9.8%	9.4%	9.6%	
分娩時間（分）											
第1期	標本数	62	48	—	66	52	—	179	195	—	
	平均値	586.8	239.1	—	640.4	305.2	—	604.8	298.7	—	
	標準偏差	445.1	145.2	—	525.1	246.9	—	437.2	217.9	—	
	標本数	61	48	—	65	52	—	178	195	—	
	平均値	118.7	22.23	—	46.7	19.3	—	64.6	17.7	—	
	標準偏差	196.0	27.68	—	47.9	25.1	—	68.0	23.1	—	
	標本数	63	51	—	65	53	—	181	197	—	
	平均値	11.37	8.8	—	8.6	9.7	—	7.0	5.6	—	
	標準偏差	31.30	16.8	—	23.2	23.6	—	22.1	5.5	—	
入院から分娩第3期終了までの時間（分）	標本数	67	50	—	63	51	—	179	196	—	
	平均値	1133.2	693.1	—	920.9	545.7	—	973.5	488.0	—	
	標準偏差	1330.9	834.3	—	825.0	546.1	—	880.8	456.3	—	
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	64	48	—	59	51	—	182	194	—	
	平均値	176.0	167.1	—	161.2	167.2	—	142.5	147.4	—	
	標準偏差	120.0	95.9	—	104.2	101.4	—	106.4	85.5	—	

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

入院経路、分娩時間、搬送の状況（助産所・分娩経験別）

- 助産所では、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高かった。

			助産所		
			初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）					
	陣痛発来	標本数	61	175	240
		件数	52	155	210
		割合	85.2%	88.6%	87.5%
	前期破水	標本数	61	175	240
		件数	8	16	25
		割合	13.1%	9.1%	10.4%
分娩時間（分）					
	第1期	標本数	58	166	227
		平均値	709.2	314.2	413.8
		標準偏差	510.5	204.7	356.1
	第2期	標本数	57	164	224
		平均値	87.8	36.0	49.1
		標準偏差	94.1	117.4	113.2
	第3期	標本数	59	172	235
		平均値	20.8	14.0	15.6
		標準偏差	28.1	29.6	29.1
入院から分娩第3期終了までの時間（分）		標本数	58	172	233
		平均値	707.9	305.8	404.1
		標準偏差	596.7	246.5	404.3
第3期終了から帰室までの時間（分）		標本数	57	159	218
		平均値	204.3	175.9	182.7
		標準偏差	264.4	142.4	181.7

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

			助産所		
			初産婦	経産婦	計
搬送の状況					
	搬送あり（複数選択）	標本数	64	178	247
		件数	9	12	21
		割合	14.1%	6.7%	8.5%
	分娩期（母体搬送）	標本数	10	13	23
		件数	7	6	13
		割合	70.0%	46.2%	56.5%
	産褥入院中	標本数	9	12	21
		件数	1	2	3
		割合	11.1%	16.7%	14.3%
	新生児（入院中）	標本数	9	13	22
		件数	2	5	7
		割合	22.2%	38.5%	31.8%
	搬送先（1つのみ選択）				
	嘱託医	標本数	9	－	21
		件数	1	－	1
割合		11.1%	－	4.8%	
嘱託医療機関	標本数	10	12	22	
	件数	6	5	11	
	割合	60.0%	41.7%	50.0%	
連携医療機関	標本数	9	12	21	
	件数	1	4	5	
	割合	11.1%	33.3%	23.8%	
その他の医療機関	標本数	9	13	22	
	件数	2	4	6	
	割合	22.2%	30.8%	27.3%	

分娩時医療行為（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 帝王切開・無痛分娩の方がその他の分娩に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬点滴」「血管確保」「陣痛誘発」の実施割合が高かった。
- 分娩施設にかかわらず、初産婦の方が経産婦に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬内服」「感染予防の抗菌薬点滴」「陣痛促進」「会陰切開」「会陰縫合」の実施割合が高かった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
子宮頸管拡張	件数	8	1	9	9	18	27	47	34	82	64	53	118
	割合	28.6%	4.2%	17.3%	24.3%	47.4%	36.0%	14.0%	7.8%	10.6%	16.0%	10.7%	13.1%
感染予防の抗菌薬内服	件数	6	1	7	11	11	22	76	57	133	93	69	162
	割合	21.4%	4.2%	13.5%	29.7%	28.9%	29.3%	22.7%	13.1%	17.1%	23.3%	13.9%	17.9%
感染予防の抗菌薬点滴	件数	19	16	35	15	4	19	75	50	125	109	70	179
	割合	67.9%	66.7%	67.3%	40.5%	10.5%	25.3%	22.4%	11.5%	16.1%	27.3%	14.1%	19.8%
血管確保	件数	28	21	49	36	38	74	287	301	591	351	360	714
	割合	100.0%	87.5%	94.2%	97.3%	100.0%	98.7%	85.7%	69.2%	76.1%	87.8%	72.4%	79.0%
陣痛促進	件数	7	2	9	22	15	37	96	67	163	125	84	209
	割合	25.0%	8.3%	17.3%	59.5%	39.5%	49.3%	28.7%	15.4%	21.0%	31.3%	16.9%	23.1%
陣痛誘発	件数	10	1	11	17	26	43	73	65	139	100	92	193
	割合	35.7%	4.2%	21.2%	45.9%	68.4%	57.3%	21.8%	14.9%	17.9%	25.0%	18.5%	21.3%
会陰切開	件数	3		3	26	18	44	206	70	276	235	88	323
	割合	10.7%	—	5.8%	70.3%	47.4%	58.7%	61.5%	16.1%	35.5%	58.8%	17.7%	35.7%
会陰縫合	件数	3		3	33	31	64	264	218	483	300	249	550
	割合	10.7%	—	5.8%	89.2%	81.6%	85.3%	78.8%	50.1%	62.2%	75.0%	50.1%	60.8%

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
子宮頸管拡張	件数	18	13	31	12	6	18	34	34	69	—	—	—
	割合	24.3%	22.8%	23.7%	17.9%	10.7%	14.6%	17.4%	16.5%	17.1%	—	—	—
感染予防の抗菌薬内服	件数	14	4	18	16	9	25	63	56	119	—	—	—
	割合	18.9%	7.0%	13.7%	23.9%	16.1%	20.3%	32.3%	27.2%	29.5%	—	—	—
感染予防の抗菌薬点滴	件数	24	15	39	26	8	34	59	47	106	—	—	—
	割合	32.4%	26.3%	29.8%	38.8%	14.3%	27.6%	30.3%	22.8%	26.3%	—	—	—
血管確保	件数	71	53	124	67	52	119	190	203	395	23	52	76
	割合	95.9%	93.0%	94.7%	100.0%	92.9%	96.7%	97.4%	98.5%	98.0%	35.9%	29.2%	30.9%
陣痛促進	件数	21	8	29	20	10	30	84	66	150	—	—	—
	割合	28.4%	14.0%	22.1%	29.9%	17.9%	24.4%	43.1%	32.0%	37.2%	—	—	—
陣痛誘発	件数	22	19	41	17	18	35	61	55	117	—	—	—
	割合	29.7%	33.3%	31.3%	25.4%	32.1%	28.5%	31.3%	26.7%	29.0%	—	—	—
会陰切開	件数	45	17	62	53	19	72	137	50	187	—	2	2
	割合	60.8%	29.8%	47.3%	79.1%	33.9%	58.5%	70.3%	24.3%	46.4%	—	1.1%	0.8%
会陰縫合	件数	57	39	96	56	44	100	171	148	320	16	18	34
	割合	77.0%	68.4%	73.3%	83.6%	78.6%	81.3%	87.7%	71.8%	79.4%	25.0%	10.1%	13.8%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

入院中の助産ケア（分娩状況別・分娩経験別）

- 入院中の助産ケアの実施回数や指導時間は、経産婦に比べて初産婦の方が多い。
- 「母子同室」については、分娩経験の有無にかかわらず、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順に実施割合が高い。
- 「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。
- 「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。
- 「育児技術指導」の延べ時間は、初産婦で平均257分、経産婦で平均218分であり、「退院指導」の時間は、初産婦で平均45分、経産婦で平均42分であった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
	件数	24	19	43	32	34	66	241	228	470	297	281	579
	割合	85.7%	79.2%	82.7%	86.5%	89.5%	88.0%	71.9%	52.4%	60.5%	74.3%	56.5%	64.0%
授乳指導(平均的な1日あたりの回数)	標本数	28	21	49	37	37	74	322	414	743	387	472	866
	平均値	4.5	4.5	4.5	3.8	4.2	4.0	5.2	4.2	4.7	5.1	4.2	4.6
	標準偏差	2.4	2.2	2.3	2.4	1.9	2.1	4.2	2.8	3.5	3.9	2.7	3.3
授乳指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	28	21	49	37	37	74	319	412	737	384	470	860
	平均値	26.4	19.4	23.4	16.8	15.4	16.1	22.0	17.4	19.4	21.8	17.3	19.4
	標準偏差	16.8	11.7	15.1	12.9	8.6	10.9	13.5	13.8	13.8	13.8	13.4	13.7
沐浴指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	28	21	49	37	36	73	326	417	750	391	474	872
	平均値	1.6	1.2	1.4	1.2	0.9	1.0	1.7	1.5	1.6	1.7	1.5	1.6
	標準偏差	1.2	0.6	1.0	0.6	0.5	0.6	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4
育児技術指導(延べ時間：分)	標本数	27	21	48	37	33	70	312	398	716	376	452	834
	平均値	271.5	226.4	251.8	160.2	183.5	171.2	267.1	220.6	240.6	256.9	218.1	235.4
	標準偏差	361.2	215.6	304.1	162.7	332.0	255.1	383.6	935.1	741.7	367.0	883.0	695.1
退院指導時間(分)	標本数	28	21	49	37	37	74	323	415	744	388	473	867
	平均値	41.8	38.1	40.2	41.5	35.7	38.6	46.2	42.3	44.2	45.4	41.6	43.5
	標準偏差	35.8	18.0	29.3	23.3	18.4	21.0	53.0	31.2	42.2	49.8	29.9	40.2

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

入院中の助産ケア（分娩施設別・分娩経験別）

- 「授乳指導」については、総合・地域周産期母子医療センターやそれ以外の病院での実施回数が多く、「育児技術指導」時間も長い傾向にある。
- 「沐浴指導」は、助産所での実施回数が多く、「退院指導」の時間も長い傾向にある。
- 「授乳指導」の平均的な1日あたりの実施回数は、総合・地域周産期母子医療センターで平均5.3回、それ以外の病院で平均5.0回、診療所で平均4.2回、助産所で平均4.7回であった。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所 ※注 1		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	—	—	—
	件数	60	45	105	59	49	108	178	187	366	—	—	—
	割合	81.1%	78.9%	80.2%	88.1%	87.5%	87.8%	91.3%	90.8%	90.8%	—	—	—
授乳指導(平均的な1日あたりの回数)	標本数	73	48	121	63	54	117	193	201	396	58	169	232
	平均値	5.7	4.6	5.3	5.2	4.7	5.0	4.4	4.0	4.2	6.2	4.2	4.7
	標準偏差	2.8	2.8	2.8	7.3	2.5	5.6	2.3	2.2	2.2	4.0	3.2	3.5
授乳指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	72	48	120	62	54	116	193	200	395	57	168	229
	平均値	27.6	22.0	25.3	19.8	20.7	20.2	18.9	15.6	17.3	26.4	16.9	19.4
	標準偏差	15.7	15.1	15.6	10.9	13.9	12.3	11.1	10.4	10.9	18.3	15.3	16.5
沐浴指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	74	49	123	65	55	120	195	200	397	57	170	232
	平均値	1.5	1.0	1.3	1.6	1.2	1.4	1.5	1.2	1.4	2.6	2.0	2.2
	標準偏差	1.0	0.5	0.9	1.4	0.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.7
育児技術指導(延べ時間：分)	標本数	73	46	119	56	48	104	190	192	384	57	166	227
	平均値	245.4	263.3	252.3	314.8	239.1	279.9	212.3	231.0	221.2	363.2	184.7	230.4
	標準偏差	316.0	407.0	352.4	536.5	380.1	470.1	260.3	1302.0	937.5	490.2	283.5	352.9
退院指導時間(分)	標本数	73	50	123	65	54	119	193	203	398	57	166	227
	平均値	40.9	39.7	40.4	41.2	43.6	42.3	39.0	32.7	35.8	77.8	52.5	59.4
	標準偏差	18.0	19.0	18.3	17.1	18.7	17.8	21.3	16.4	19.2	116.6	42.4	69.6

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 注 1 助産所票には母子同室の質問項目無し

新生児の概要（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児の「出生時の体重」は、全般的に「経産婦」の方が「初産婦」よりも重く、「在院日数」は、「初産婦」の方が「経産婦」よりも長い。他方で、標準偏差をみると、両者とも、「経産婦」の方が「初産婦」よりもばらつきが大きい。
- 新生児の「出生時の体重」は、その他の分娩＞無痛分娩＞帝王切開の順で重い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	28	24	52	37	38	75	332	433	771	397	495	897
	平均値	3,054	2,920	2,992	3,018	3,067	3,043	3,023	3,121	3,079	3,024	3,107	3,071
	標準偏差	338.3	338.7	341.8	357.3	280.5	319.5	357.5	365.5	365.0	355.4	360.6	360.6
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	26	24	50	37	38	75	329	429	765	392	491	890
	平均値	8.4	8.2	8.3	5.8	5.3	5.5	5.9	5.4	5.6	6.0	5.5	5.7
	標準偏差	2.8	3.9	3.3	0.9	0.6	0.8	1.7	2.6	2.2	1.8	2.6	2.3

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	61	177	242
	平均値	3,022	3,070	3,043	2,996	3,088	3,038	3,031	3,084	3,059	3,037	3,150	3,125
	標準偏差	398.1	441.0	416.2	360.3	293.5	333.5	342.0	338.4	340.0	344.5	375.3	370.8
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	72	56	128	67	56	123	193	204	399	60	175	240
	平均値	7.1	7.9	7.4	6.8	6.3	6.5	5.9	5.5	5.7	4.3	4.5	4.4
	標準偏差	2.7	5.2	4.0	1.8	1.9	1.8	1.0	1.0	1.0	1.3	2.3	2.1

※ 本調査の実施期間は1か月であったが、助産所の在院日数で1件30日を大きく上回る日数があったため外れ値として除外。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膣分娩等が該当する。

新生児へ提供した医療等（分娩状況別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で多い。「産科医」では、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で多い。
- 検査等について、「アプニアセンサー装着」は全体の47%に実施され、「新生児聴覚検査」は全体の87%に実施されていた。
- 無痛分娩・その他の分娩に比べ、帝王切開で出生直後に「血糖測定対象かどうか」「SpO2モニター装着」の割合が高い。
- 治療については、帝王切開・その他の分娩と比べ、無痛分娩で「光線療法」の割合が高い。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	標本数	26	22	48	33	37	70	253	230	485	312	289	603
		平均値	2.2	2.7	2.4	1.8	1.5	1.7	2.0	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9
		標準偏差	2.5	5.4	4.1	2.3	1.6	1.9	2.6	3.5	3.0	2.5	3.5	3.0
	産科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	標本数	27	22	49	35	38	73	265	244	511	327	304	633
		平均値	2.2	2.2	2.2	2.3	1.7	2.0	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8
		標準偏差	2.3	2.3	2.3	2.3	1.5	1.9	2.1	1.8	2.0	2.1	1.8	2.0
	助産師による観察日数 ※注2	標本数	—	—	—	—	—	—	58	167	230	58	167	231
		平均値	—	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8
		標準偏差	—	—	—	—	—	—	1.3	1.7	1.6	1.3	1.7	1.6
検査等	採血検査の項目 ※注3	標本数	28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
		件数	17	8	25	22	24	46	185	282	473	224	314	544
		割合	60.7%	33.3%	48.1%	59.5%	63.2%	61.3%	55.2%	64.8%	60.9%	56.0%	63.2%	60.2%
	黄疸検査 ※注4	件数	27	22	49	35	37	72	328	418	752	390	477	873
		割合	96.4%	91.7%	94.2%	94.6%	97.4%	96.0%	97.9%	96.1%	96.8%	97.5%	96.0%	96.6%
	出生直後血糖測定対象かどうか	件数	8	12	20	12	13	25	87	91	180	107	116	225
		割合	28.6%	50.0%	38.5%	32.4%	34.2%	33.3%	26.0%	20.9%	23.2%	26.8%	23.3%	24.9%
	SpO2モニター装着（出生直後等）	件数	27	20	47	31	34	65	276	323	605	334	377	717
		割合	96.4%	83.3%	90.4%	83.8%	89.5%	86.7%	82.4%	74.3%	77.9%	83.5%	75.9%	79.3%
	アプニアセンサー装着	件数	19	12	31	22	23	45	187	164	352	228	199	428
		割合	67.9%	50.0%	59.6%	59.5%	60.5%	60.0%	55.8%	37.7%	45.3%	57.0%	40.0%	47.3%
	先天性代謝異常等検査	件数	28	23	51	36	38	74	321	421	749	385	482	874
		割合	100.0%	95.8%	98.1%	97.3%	100.0%	98.7%	95.8%	96.8%	96.4%	96.3%	97.0%	96.7%
	新生児聴覚検査	件数	28	23	51	37	38	75	306	352	662	371	413	788
		割合	100.0%	95.8%	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	91.3%	80.9%	85.2%	92.8%	83.1%	87.2%
治療等	保育器収容（酸素投与のため）	件数	5	6	11	2	3	5	23	15	39	30	24	55
		割合	17.9%	25.0%	21.2%	5.4%	7.9%	6.7%	6.9%	3.4%	5.0%	7.5%	4.8%	6.1%
	保育器収容（保温のため）	件数	13	11	24	37	5	11	40	37	77	59	53	112
		割合	46.4%	45.8%	46.2%	16.2%	13.2%	14.7%	11.9%	8.5%	9.9%	14.8%	10.7%	12.4%
	保温（保育器収容を含む） ※注2	件数	—	—	—	—	—	—	45	123	172	45	123	172
		割合	—	—	—	—	—	—	13.4%	28.3%	22.1%	11.3%	24.7%	19.0%
	光線療法 ※注1	件数	1	1	2	4	3	7	38	21	60	43	25	69
		割合	3.6%	4.2%	3.8%	10.8%	7.9%	9.3%	11.3%	4.8%	7.7%	10.8%	5.0%	7.6%
新生児への処置・ケア	臍処置	件数	27	21	48	32	28	60	319	400	726	378	449	834
		割合	96.4%	87.5%	92.3%	86.5%	73.7%	80.0%	95.2%	92.0%	93.4%	94.5%	90.3%	92.3%
	皮膚ケア	件数	23	19	42	27	24	51	253	336	595	303	379	688
		割合	82.1%	79.2%	80.8%	73.0%	63.2%	68.0%	75.5%	77.2%	76.6%	75.8%	76.3%	76.1%
	ビタミンK2内服	件数	27	21	48	35	38	73	327	424	758	389	483	879
		割合	96.4%	87.5%	92.3%	94.6%	100.0%	97.3%	97.6%	97.5%	97.6%	97.3%	97.2%	97.2%
	沐浴・ドライケア（清拭）の回数 (入院中に限る)	標本数	25	22	47	36	36	72	309	409	724	370	467	843
		平均値	6.4	7.0	6.7	4.1	4.3	4.2	4.8	4.3	4.5	4.8	4.4	4.6
		標準偏差	3.8	4.5	4.1	2.0	1.3	1.7	1.8	2.6	2.3	2.1	2.7	2.4

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

※ 患者票の出産経験（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注1 病院・診療所のみ

※ 注2 助産所のみ

※ 注3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」

※ 注4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疸計測定」

新生児へ提供した医療等（分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では総合・地域周産期母子医療センター＞診療所＞それ以外の病院の順が多い。「産科医」では、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院＞診療所の順が多い。
- 検査等について、「アプニアセンサー装着」はそれ以外の病院72％、総合・地域周産期母子医療センター67％、診療所50％、助産所19％の順で割合が高い。
- 治療については、それ以外の病院・診療所に比べ、総合・地域周産期母子医療センターで「光線療法」の割合が高い。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 （入院中に限る）※注1	標本数	74	56	130	64	50	114	174	183	359	—	—	—
		平均値	3.8	4.7	4.2	3.0	3.0	3.0	0.9	0.7	0.8	—	—	—
		標準偏差	3.2	6.2	4.7	2.8	2.8	2.8	1.3	1.1	1.2	—	—	—
	産科医による診療日数 （入院中に限る）※注1	標本数	74	54	128	66	50	116	187	200	389	—	—	—
		平均値	0.9	0.7	0.8	1.2	1.4	1.3	2.4	2.2	2.3	—	—	—
		標準偏差	1.6	1.0	1.4	2.3	1.9	2.2	2.0	1.8	1.9	—	—	—
	助産師による観察日数 ※注2	標本数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	167	231
		平均値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8
		標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.7	1.6
検査等	採血検査の項目 ※注3	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
		件数	49	32	81	32	32	64	101	115	218	42	135	181
		割合	66.2%	56.1%	61.8%	47.8%	57.1%	52.0%	51.8%	55.8%	54.1%	65.6%	75.8%	73.3%
	黄疸検査 ※注4	件数	72	54	126	65	53	118	193	198	393	60	172	236
		割合	97.3%	94.7%	96.2%	97.0%	94.6%	95.9%	99.0%	96.1%	97.5%	93.8%	96.6%	95.5%
	出生直後血糖測定対象かどうか	件数	30	21	51	16	11	27	51	50	101	10	34	46
		割合	40.5%	36.8%	38.9%	23.9%	19.6%	22.0%	26.2%	24.3%	25.1%	15.6%	19.1%	18.6%
	SpO2モニター装着（出生直後等）	件数	68	48	116	62	52	114	161	165	328	43	112	159
		割合	91.9%	84.2%	88.5%	92.5%	92.9%	92.7%	82.6%	80.1%	81.4%	67.2%	62.9%	64.4%
	アプニアセンサー装着	件数	56	32	88	51	38	89	107	95	203	14	34	48
		割合	75.7%	56.1%	67.2%	76.1%	67.9%	72.4%	54.9%	46.1%	50.4%	21.9%	19.1%	19.4%
	先天性代謝異常等検査	件数	73	55	128	66	56	122	192	203	397	54	168	227
		割合	98.6%	96.5%	97.7%	98.5%	100.0%	99.2%	98.5%	98.5%	98.5%	84.4%	94.4%	91.9%
	新生児聴覚検査	件数	74	55	129	67	56	123	193	202	397	37	100	139
		割合	100.0%	96.5%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	98.1%	98.5%	57.8%	56.2%	56.3%
治療等	保育器収容（酸素投与のため）	件数	11	9	20	5	3	8	14	12	27	—	—	—
		割合	14.9%	15.8%	15.3%	7.5%	5.4%	6.5%	7.2%	5.8%	6.7%	—	—	—
	保育器収容（保温のため）	件数	21	12	33	7	9	16	31	32	63	—	—	—
		割合	28.4%	21.1%	25.2%	10.4%	16.1%	13.0%	15.9%	15.5%	15.6%	—	—	—
	保温（保育器収容を含む）※注2	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	123	172
		割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.3%	69.1%	69.6%
新生児への処置・ケア	光線療法※注1	件数	12	5	17	8	4	12	23	16	40	—	—	—
		割合	16.2%	8.8%	13.0%	11.9%	7.1%	9.8%	11.8%	7.8%	9.9%	—	—	—
	臍処置	件数	70	45	115	66	53	119	186	187	375	56	164	225
		割合	94.6%	78.9%	87.8%	98.5%	94.6%	96.7%	95.4%	90.8%	93.1%	87.5%	92.1%	91.1%
	皮膚ケア	件数	56	38	94	56	47	103	145	139	285	46	155	206
		割合	75.7%	66.7%	71.8%	83.6%	83.9%	83.7%	74.4%	67.5%	70.7%	71.9%	87.1%	83.4%
	ビタミンK2内服	件数	70	53	123	66	56	122	194	204	403	59	170	234
		割合	94.6%	93.0%	93.9%	98.5%	100.0%	99.2%	99.5%	99.0%	99.3%	92.2%	95.5%	94.7%
	沐浴・ドライケア（清拭）の回数 （入院中に限る）	標本数	68	54	122	62	53	115	182	192	375	58	168	231
		平均値	4.8	6.2	5.5	5.7	5.3	5.5	4.8	4.3	4.5	3.9	3.7	3.8
		標準偏差	3.3	5.9	4.6	2.0	1.9	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.9	1.8

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 患者票の出産経験（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注1 病院・診療所のみ

※ 注2 助産所のみ

※ 注3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」

※ 注4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疸計測定」

提供したサービス等（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。
- 「お祝い膳」の提供は、助産所が最も割合が低い。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
お祝い膳	件数	21	17	38	31	27	58	234	257	496	286	301	592
	割合	75.0%	70.8%	73.1%	83.8%	71.1%	77.3%	69.9%	59.1%	63.8%	71.5%	60.6%	65.5%
写真撮影	件数	18	12	30	20	21	41	201	294	500	239	327	571
	割合	64.3%	50.0%	57.7%	54.1%	55.3%	54.7%	60.0%	67.6%	64.4%	59.8%	65.8%	63.2%
足形	件数	11	9	20	14	18	32	167	243	416	192	270	468
	割合	39.3%	37.5%	38.5%	37.8%	47.4%	42.7%	49.9%	55.9%	53.5%	48.0%	54.3%	51.8%
エステ	件数	11	5	16	18	21	39	104	157	266	133	183	321
	割合	39.3%	20.8%	30.8%	48.6%	55.3%	52.0%	31.0%	36.1%	34.2%	33.3%	36.8%	35.5%

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
お祝い膳	件数	63	39	102	54	44	98	148	170	319	21	48	73
	割合	85.1%	68.4%	77.9%	80.6%	78.6%	79.7%	75.9%	82.5%	79.2%	32.8%	27.0%	29.6%
写真撮影	件数	15	15	30	34	33	67	155	168	325	35	111	149
	割合	20.3%	26.3%	22.9%	50.7%	58.9%	54.5%	79.5%	81.6%	80.6%	54.7%	62.4%	60.3%
足形	件数	20	9	29	32	28	60	104	123	228	36	110	151
	割合	27.0%	15.8%	22.1%	47.8%	50.0%	48.8%	53.3%	59.7%	56.6%	56.3%	61.8%	61.1%
エステ	件数	4	－	4	14	15	29	101	110	211	14	58	77
	割合	5.4%	－	3.1%	20.9%	26.8%	23.6%	51.8%	53.4%	52.4%	21.9%	32.6%	31.2%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

費用（分娩状況別・分娩経験別）

（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。
- 「室料差額」「分娩介助料」「処置・手当料」を除き、「経産婦」と比べ、「初産婦」の方が高い。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が476,365円に対して、「初産婦」は523,711円。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	5	2	7	30	31	61	283	374	662	318	407	730
	平均値	184,400	84,000	155,714	134,720	105,845	120,046	126,401	118,161	121,520	128,097	117,055	121,725
	標準偏差	201,059	21,213	171,537	67,783	69,870	69,810	63,943	84,288	76,063	68,003	83,096	76,815
室料差額	標本数	10	17	27	18	20	38	119	91	212	147	128	277
	平均値	89,300	55,142	67,793	49,699	100,780	76,584	37,304	37,389	37,359	42,359	49,651	45,706
	標準偏差	87,810	42,901	63,908	47,899	259,458	190,502	23,916	25,132	24,348	37,190	106,180	77,043
分娩介助料	標本数	20	22	42	15	12	27	81	47	128	116	81	197
	平均値	255,708	221,923	238,011	276,793	358,208	312,978	252,447	249,910	251,516	256,158	258,353	257,060
	標準偏差	77,124	88,438	83,989	103,637	83,621	102,183	72,552	88,662	78,515	77,572	97,145	85,928
分娩料	標本数	2	1	3	24	22	46	221	363	590	247	386	639
	平均値	262,000	233,000	252,333	332,573	310,686	322,105	286,706	288,111	287,151	290,962	289,255	289,504
	標準偏差	25,456	.	24,583	105,982	73,632	91,615	80,575	73,331	76,455	83,970	73,401	77,966
新生児管理保育料	標本数	17	18	35	33	34	67	275	379	660	325	431	762
	平均値	94,033	73,724	83,588	70,565	70,056	70,307	57,722	54,138	55,548	60,925	56,212	58,134
	標準偏差	37,544	38,137	38,686	28,521	71,432	54,275	23,924	23,209	23,513	26,640	30,893	29,150
検査・薬剤料	標本数	13	12	25	29	30	59	260	293	558	302	335	642
	平均値	28,518	13,873	21,488	36,786	16,157	26,297	17,209	15,631	16,283	19,576	15,615	17,406
	標準偏差	33,071	13,306	26,149	33,725	12,485	27,115	16,107	15,392	15,711	20,236	15,054	17,767
処置・手当料	標本数	7	11	18	25	24	49	227	302	534	259	337	601
	平均値	20,400	26,753	24,282	68,747	54,619	61,827	25,883	32,935	29,930	29,872	34,277	32,361
	標準偏差	25,336	36,139	31,701	54,694	68,037	61,357	20,434	28,816	25,714	28,668	33,654	31,546
産科医療補償制度の掛金	標本数	21	23	44	37	34	71	304	403	713	362	460	828
	平均値	12,571	12,174	12,364	12,000	12,353	12,169	12,056	11,991	12,019	12,080	12,027	12,050
	標準偏差	2,619	834	1,894	0	2,058	1,424	674	547	603	881	781	824
その他	標本数	20	22	42	37	34	71	297	388	691	354	444	804
	平均値	26,854	47,108	37,463	125,061	75,326	101,244	34,953	32,989	33,797	43,913	36,930	39,945
	標準偏差	25,933	60,127	47,625	159,743	60,137	124,316	34,295	29,157	31,399	66,325	36,268	51,723
一部負担金等	標本数	19	22	41	19	21	40	110	78	189	148	121	270
	平均値	101,443	81,032	90,490	61,540	67,163	64,492	30,591	17,981	25,227	43,660	37,980	40,954
	標準偏差	64,796	62,924	63,830	114,510	147,375	131,142	38,448	23,047	33,414	61,778	73,502	67,155
産婦合計負担額	標本数	20	22	42	37	34	71	295	390	690	352	446	803
	平均値	592,841	437,170	511,299	639,012	564,517	603,338	504,562	470,891	485,636	523,711	476,365	497,385
	標準偏差	224,004	227,430	236,512	229,040	225,014	228,589	170,660	175,715	173,662	185,670	184,070	185,614
代理受取額	標本数	19	23	42	31	30	61	224	226	452	274	279	555
	平均値	458,358	429,861	442,752	499,411	511,590	505,401	491,242	487,923	488,626	489,886	485,681	486,998
	標準偏差	58,146	96,025	81,475	3,278	71,390	50,064	28,671	46,999	44,034	31,250	58,168	50,290

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

費用（分娩施設別・分娩経験別）

（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高かった。
- 「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については、診療所が高い傾向。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	44	38	82	53	40	93	165	175	342	56	154	213
	平均値	208,295	197,013	203,066	162,650	153,980	158,921	103,368	90,145	96,339	105,246	118,314	114,930
	標準偏差	64,410	77,418	70,514	71,022	71,710	71,060	54,223	38,571	47,190	34,809	105,340	91,459
室料差額	標本数	33	25	58	31	22	53	81	80	163	2	1	3
	平均値	61,361	48,848	55,967	38,990	45,773	41,806	36,489	51,277	43,781	18,800	25,000	20,867
	標準偏差	55,618	23,327	44,775	21,675	27,455	24,225	30,126	133,206	95,709	8,768	-	7,159
分娩介助料 ※注 1	標本数	32	24	56	30	14	44	54	43	97	-	-	-
	平均値	243,651	251,550	247,037	225,051	170,436	207,674	280,850	290,774	285,249	-	-	-
	標準偏差	78,822	96,642	86,157	61,266	81,855	72,244	78,137	84,308	80,653	-	-	-
分娩料	標本数	31	25	56	31	35	66	127	153	282	58	173	235
	平均値	266,346	215,484	243,639	236,552	248,578	242,929	312,147	308,843	309,375	286,814	290,822	289,668
	標準偏差	105,638	71,019	94,545	73,786	90,638	82,744	77,814	68,455	74,267	73,142	64,181	66,000
新生児管理保育料	標本数	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	平均値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
	標準偏差	34,518	73,762	54,905	24,494	31,329	27,770	25,685	26,632	26,275	17,026	16,915	16,839
検査・薬剤料	標本数	45	37	82	50	39	89	164	158	324	43	101	147
	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,534	22,158	20,152	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
処置・手当料	標本数	31	23	54	33	33	66	140	128	270	55	153	211
	平均値	19,102	12,114	16,126	27,402	21,688	24,545	30,268	36,538	33,135	36,418	38,433	37,972
	標準偏差	18,276	12,340	16,261	31,392	25,111	28,352	32,638	47,479	40,354	17,338	18,303	17,954
産科医療補償制度の掛金	標本数	61	47	108	61	49	110	182	194	378	58	170	232
	平均値	12,377	12,340	12,361	12,067	12,010	12,042	12,003	11,960	11,981	12,026	12,021	12,022
	標準偏差	2,067	1,833	1,960	525	71	393	37	781	560	112	100	102
その他	標本数	61	48	109	59	49	108	180	191	373	54	156	214
	平均値	35,716	34,272	35,080	48,169	31,696	40,695	46,644	38,536	42,369	39,420	37,426	37,819
	標準偏差	50,434	35,405	44,263	125,742	37,783	96,327	49,101	39,758	44,579	28,827	31,388	30,544
一部負担金等 ※注 1	標本数	32	23	55	31	15	46	85	83	169	-	-	-
	平均値	76,869	53,118	66,937	36,792	46,958	40,107	33,663	32,163	32,729	-	-	-
	標準偏差	73,957	63,379	70,116	40,144	51,357	43,797	59,549	79,150	69,554	-	-	-
産婦合計負担額	標本数	63	46	109	58	49	107	176	188	366	55	163	221
	平均値	569,095	493,892	537,358	513,162	492,175	503,551	532,257	495,356	513,405	455,500	444,761	448,154
	標準偏差	165,715	210,063	188,529	162,997	132,969	149,677	189,849	181,818	185,924	200,500	189,285	190,601
代理受取額 ※注 1	標本数	56	47	103	51	45	96	167	187	356	-	-	-
	平均値	473,394	465,181	469,646	480,498	470,004	475,579	498,284	494,606	495,097	-	-	-
	標準偏差	45,629	109,166	80,709	46,916	53,854	50,294	7,964	34,321	34,783	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 注 1 助産所票には質問項目無し

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経腔分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出30分前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- その他の分娩で「医師」・「看護師」・「准看護師」の最小値に「0」があるのは、助産所が含まれるためである。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後30分														
産婦人科医	平均値		1.818	1.706	1.756	1.412	1.294	1.348	1.018	0.626	0.788	1.111	0.721	0.888
	標準偏差		0.588	0.588	0.582	0.609	0.579	0.590	0.725	0.639	0.698	0.738	0.686	0.730
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
麻酔科医	平均値		0.318	0.588	0.439	0.147	0.265	0.217	0.025	0.003	0.012	0.057	0.046	0.052
	標準偏差		0.716	0.618	0.673	0.359	0.448	0.415	0.216	0.051	0.144	0.300	0.221	0.259
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	2	3	1	1	1	3	1	3	3	2	3
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.065	0.021	0.040	0.072	0.035	0.051
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.247	0.143	0.196	0.292	0.183	0.237
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	3
助産師	平均値		2.136	1.706	1.927	1.794	2.000	1.928	2.047	2.081	2.061	2.027	2.060	2.042
	標準偏差		1.167	1.105	1.127	0.946	0.921	0.960	1.029	0.945	0.974	1.031	0.951	0.981
	最小値		1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	最大値		5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.136	1.059	1.049	0.294	0.265	0.275	0.513	0.327	0.404	0.532	0.351	0.426
	標準偏差		1.246	1.249	1.224	0.629	0.511	0.566	0.740	0.632	0.683	0.789	0.671	0.726
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.032	0.071	0.058	0.045	0.083	0.069
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.197	0.286	0.263	0.235	0.316	0.291
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.049	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.022
	標準偏差		—	0.332	0.218	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.146
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出1時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。
- 「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後1時間														
産婦人科医	平均値		1.818	1.706	1.756	1.412	1.324	1.362	1.047	0.628	0.802	1.135	0.725	0.901
	標準偏差		0.588	0.588	0.582	0.609	0.589	0.593	0.767	0.642	0.722	0.770	0.691	0.749
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
麻酔科医	平均値		0.364	0.588	0.463	0.176	0.265	0.232	0.025	0.003	0.012	0.063	0.046	0.055
	標準偏差		0.902	0.618	0.778	0.387	0.448	0.425	0.216	0.051	0.144	0.337	0.221	0.278
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.076	0.021	0.044	0.081	0.035	0.055
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.279	0.143	0.213	0.314	0.183	0.249
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3
助産師	平均値		2.318	1.824	2.073	1.912	2.059	2.014	2.123	2.157	2.135	2.114	2.136	2.121
	標準偏差		1.211	1.015	1.127	0.965	0.952	0.978	1.046	0.962	0.991	1.049	0.963	0.997
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.136	1.235	1.122	0.324	0.265	0.290	0.527	0.359	0.429	0.547	0.386	0.453
	標準偏差		1.246	1.251	1.229	0.638	0.511	0.571	0.754	0.664	0.707	0.800	0.705	0.749
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.036	0.076	0.062	0.048	0.088	0.073
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.205	0.302	0.276	0.241	0.329	0.300
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023
	標準偏差		—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」については、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後2時間														
産婦人科医	平均値		1.909	1.706	1.805	1.441	1.529	1.478	1.072	0.644	0.821	1.165	0.755	0.930
	標準偏差		0.684	0.588	0.641	0.613	0.615	0.609	0.809	0.671	0.756	0.814	0.730	0.788
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	5	4	5	5	4	5
麻酔科医	平均値		0.364	0.588	0.463	0.235	0.294	0.275	0.025	0.003	0.012	0.069	0.048	0.059
	標準偏差		0.902	0.618	0.778	0.431	0.462	0.450	0.216	0.051	0.144	0.345	0.226	0.284
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.147	0.087	0.083	0.021	0.047	0.087	0.037	0.059
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.359	0.284	0.289	0.143	0.219	0.322	0.189	0.256
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3
助産師	平均値		2.636	2.059	2.390	2.235	2.500	2.391	2.289	2.272	2.271	2.306	2.282	2.288
	標準偏差		1.255	0.966	1.181	1.103	1.285	1.203	1.072	0.985	1.015	1.088	1.011	1.041
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.273	1.294	1.220	0.412	0.294	0.348	0.552	0.374	0.448	0.586	0.404	0.480
	標準偏差		1.279	1.312	1.275	0.701	0.524	0.614	0.781	0.682	0.729	0.834	0.727	0.777
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	4	3	4	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.147	0.147	0.145	0.043	0.079	0.067	0.057	0.090	0.078
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.436	0.436	0.430	0.221	0.306	0.283	0.268	0.332	0.312
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023
	標準偏差		—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩施設・分娩経験別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」については、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所>それ以外の病院>総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後30分													
産婦人科医	平均値	1.672	1.468	1.571	1.386	1.163	1.279	1.155	1.122	1.135	—	—	—
	標準偏差	0.746	0.687	0.720	0.726	0.433	0.615	0.380	0.362	0.368	—	—	—
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
	最大値	4	4	4	4	3	4	3	3	3	—	—	—
麻酔科医	平均値	0.164	0.213	0.176	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	—	—	—
	標準偏差	0.480	0.463	0.463	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	—	—	—
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	3	2	3	3	1	3	1	1	1	—	—	—
小児科新生児科医	平均値	0.209	0.128	0.168	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	—	—	—
	標準偏差	0.509	0.337	0.438	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	—	—	—
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	—	—	—
助産師	平均値	2.313	2.064	2.193	1.947	1.767	1.875	1.723	1.698	1.709	2.630	2.497	2.522
	標準偏差	1.144	1.131	1.130	0.953	0.895	0.910	0.943	0.925	0.936	0.853	0.739	0.763
	最小値	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
	最大値	7	7	7	5	4	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値	0.239	0.234	0.227	0.421	0.605	0.510	0.871	0.645	0.748	0.037	0.023	0.026
	標準偏差	0.740	0.598	0.669	0.706	0.791	0.750	0.812	0.807	0.812	0.272	0.152	0.185
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値	—	—	—	0.053	0.023	0.038	0.077	0.203	0.150	—	—	—
	標準偏差	—	—	—	0.294	0.152	0.238	0.291	0.471	0.413	—	—	—
	最小値	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	—	—	—	2	1	2	2	3	3	—	—	—
その他	平均値	—	0.021	0.017	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	—	—	—
	標準偏差	—	0.146	0.129	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	—	—	—
	最小値	—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	—	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩施設・分娩経験別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後1時間														
産婦人科医	平均値		1.701	1.468	1.588	1.456	1.163	1.317	1.168	1.134	1.147	－	－	－
	標準偏差		0.779	0.687	0.741	0.803	0.433	0.672	0.392	0.374	0.379	－	－	－
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	－	－
	最大値		4	4	4	4	3	4	3	3	3	－	－	－
麻酔科医	平均値		0.194	0.213	0.193	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	－	－	－
	標準偏差		0.584	0.463	0.525	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	－	－	－
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		4	2	4	3	1	3	1	1	1	－	－	－
小児科新生児科医	平均値		0.254	0.128	0.193	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	－	－	－
	標準偏差		0.560	0.337	0.474	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	－	－	－
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	－	－	－
助産師	平均値		2.448	2.170	2.311	2.018	1.860	1.952	1.826	1.767	1.793	2.630	2.567	2.574
	標準偏差		1.171	1.167	1.163	1.044	0.889	0.959	0.954	0.951	0.955	0.853	0.736	0.760
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		7	7	7	5	4	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値		0.254	0.255	0.244	0.439	0.674	0.548	0.890	0.709	0.793	0.037	0.023	0.026
	標準偏差		0.746	0.642	0.688	0.708	0.808	0.762	0.826	0.836	0.834	0.272	0.152	0.185
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値		－	－	－	0.053	0.023	0.038	0.084	0.215	0.159	－	－	－
	標準偏差		－	－	－	0.294	0.152	0.238	0.301	0.490	0.427	－	－	－
	最小値		－	－	－	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		－	－	－	2	1	2	2	3	3	－	－	－
その他	平均値		－	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	－	－	－
	標準偏差		－	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	－	－	－
	最小値		－	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		－	1	1	1	1	1	1	1	1	－	－	－

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩施設・分娩経験婦別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後2時間														
産婦人科医	平均値		1.836	1.574	1.706	1.456	1.233	1.346	1.174	1.163	1.165	—	—	—
	標準偏差		0.881	0.715	0.817	0.803	0.480	0.679	0.397	0.415	0.403	—	—	—
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
	最大値		5	4	5	4	3	4	3	3	3	—	—	—
麻酔科医	平均値		0.194	0.213	0.193	0.140	0.070	0.115	0.013	0.047	0.033	—	—	—
	標準偏差		0.584	0.463	0.525	0.480	0.258	0.402	0.113	0.211	0.179	—	—	—
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		4	2	4	3	1	3	1	1	1	—	—	—
小児科新生児科医	平均値		0.269	0.128	0.202	0.140	0.093	0.115	0.019	0.035	0.030	—	—	—
	標準偏差		0.566	0.337	0.480	0.350	0.294	0.321	0.138	0.184	0.171	—	—	—
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	—	—	—
助産師	平均値		2.657	2.447	2.546	2.281	2.093	2.221	2.026	1.977	1.994	2.704	2.591	2.609
	標準偏差		1.225	1.176	1.191	1.013	0.971	0.995	1.038	1.108	1.075	0.882	0.741	0.773
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		7	7	7	5	5	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値		0.269	0.255	0.252	0.474	0.698	0.577	0.955	0.750	0.844	0.037	0.023	0.026
	標準偏差		0.750	0.642	0.692	0.734	0.832	0.784	0.863	0.859	0.864	0.272	0.152	0.185
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値		—	—	—	0.053	0.023	0.038	0.103	0.221	0.171	—	—	—
	標準偏差		—	—	—	0.294	0.152	0.238	0.345	0.493	0.443	—	—	—
	最小値		—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		—	—	—	2	1	2	2	3	3	—	—	—
その他	平均値		—	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	—	—	—
	標準偏差		—	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	—	—	—
	最小値		—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		—	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

4. 患者（産婦）票の結果について まとめ

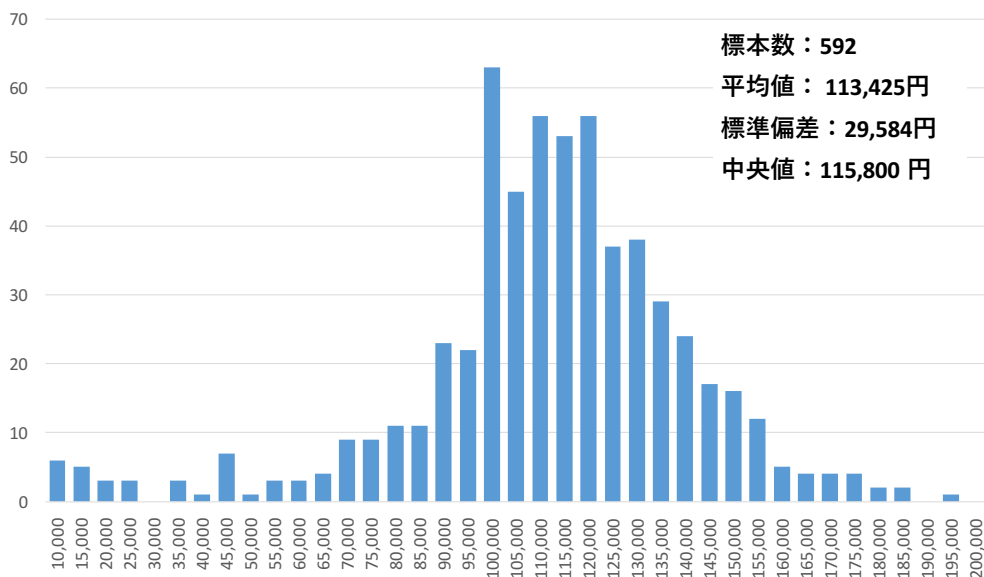
- 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。
- 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。
- 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高い。助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高い。
- 分娩経験や分娩の状況によらず、ほぼ80%以上の分娩が住所のある都道府県内で完結している。
- 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短い。
- 「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦で高く、とりわけ総合・地域周産期母子医療センターで該当割合が高い。
- 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高い。
- 入院中の助産ケアについて、「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。
- 「育児技術指導」の延べ時間（平均）は初産婦で257分、経産婦で218分であり、「退院指導」の時間は初産婦で45分、経産婦で42分であった。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。
- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が476,365円に対して、「初産婦」は523,711円。
- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高かった。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については診療所が高い傾向。
- 正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人であった。

5. 妊婦健診と産後ケア

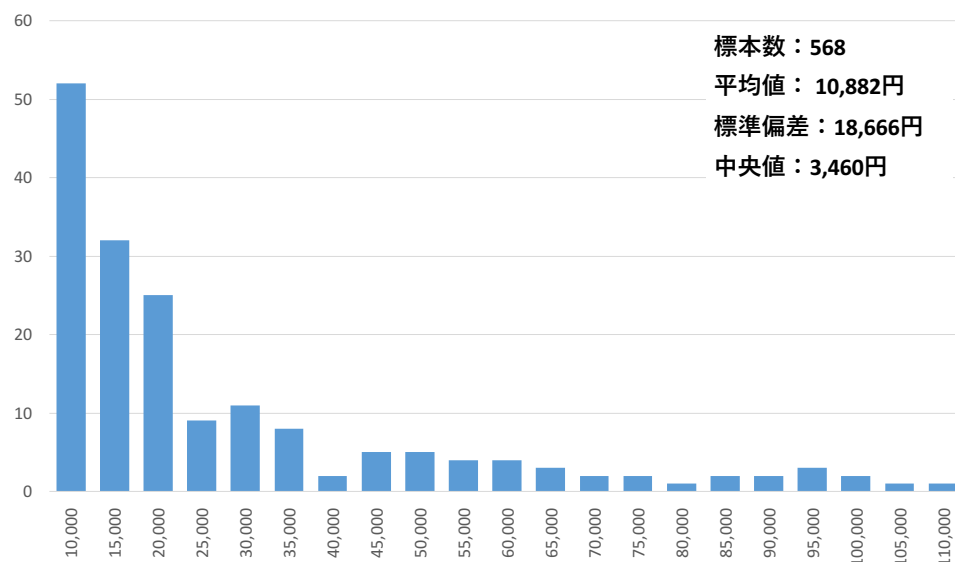
平均的な妊婦健診と望ましい基準に含まれない健診項目の費用 (病院+診療所)

- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は**113,425円**（中央値**115,800円**）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は**10,882円**（中央値**3,460円**）。平均的な健診費用が正規分布に近いのに対し、基準外は実施していない施設が多く、右裾が長い分布となっている。
- 尚、妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約**13.4回**で、中央値も**13.4**。

平均的な妊婦健診の費用（病院+診療所）



望ましい基準に含まれない健診項目の費用（病院+診療所）

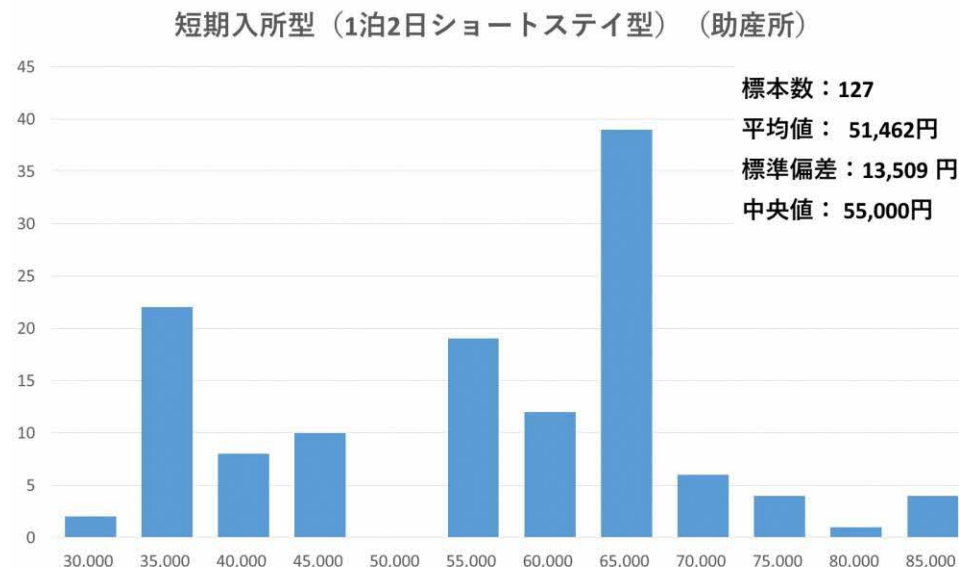
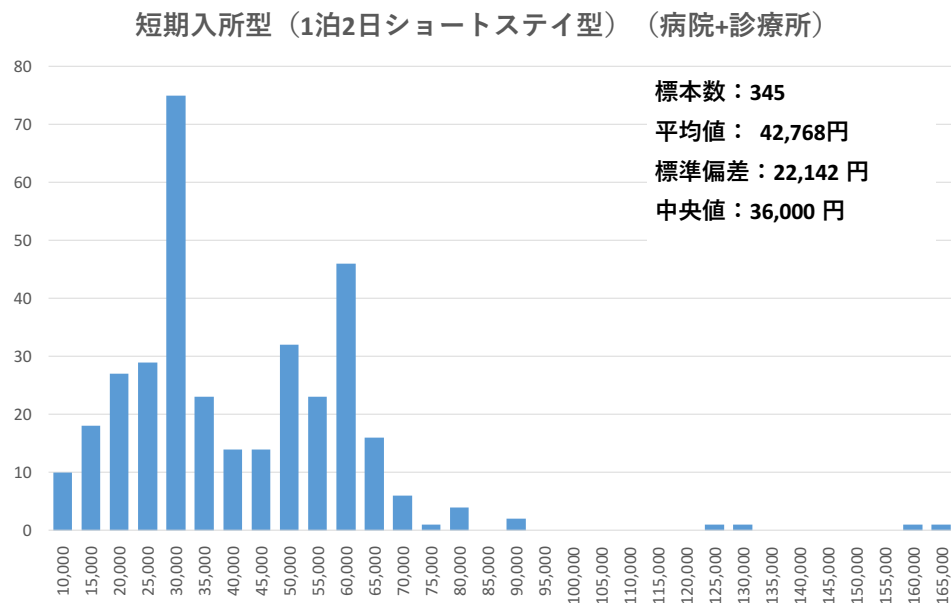


※注1 平均的な妊婦健診の費用については、明らかに1回当たりの健診費用と思われる外れ値と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

※注2 望ましい基準に含まれない健診項目は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」（平成27年厚生労働省告示第226号）に含まれない項目としている。尚、上位1%の外れ値を除外。

産後ケア事業の費用（病院+診療所と助産所）

- 短期入所型（1泊2日ショートステイ型）（病院+診療所）の費用の平均値は42,768円（中央値36,000円）に対し、助産所の費用の平均値は51,462円（中央値55,000円）。
- 尚、病院+診療所での1ヶ月間の延べ利用者数の平均は約7.5人（中央値3人）、助産所では約8.2人（中央値2人）。



※注1 下位5%と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

※注2 下位5%と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

第1 妊婦健康診査の実施時期及び回数等

1 市町村は、次のイからハまでに掲げる妊娠週数の区分に応じ、それぞれイからハまでに掲げる頻度で妊婦に対する健康診査（以下「妊婦健康診査」という。）を行い、妊婦一人につき、出産までに14回程度行うものとする。

イ 妊娠初期から妊娠23週まで おおむね4週間に1回

ロ 妊娠24週から妊娠35週まで おおむね2週間に1回

ハ 妊娠36週から出産まで おおむね1週間に1回

2 市町村は、妊婦一人につき14回程度の妊婦健康診査の実施に要する費用を負担するものとする。

第2 妊婦健康診査の内容等

1 市町村は、各回の妊婦健康診査においては、次に掲げる事項について実施するものとする。

イ 問診、診察等 妊娠週数に応じた問診、診察等により、健康状態を把握するものとする。

ロ 検査 子宮底長、腹囲、血圧、浮腫、尿（糖及び蛋白）、体重等の検査を行うものとする。なお、初回の妊婦健康診査においては、身長を検査を行うものとする。

ハ 保健指導 妊娠中の食事や生活上の注意事項等について具体的な指導を行うとともに、妊婦の精神的な健康の保持に留意し、妊娠、出産及び育児に対する不安や悩みの解消が図られるようにするものとする。

2 市町村は、1に掲げるもののほか、必要に応じた医学的検査を妊娠期間中の適切な時期に実施するものとする。医学的検査については、次の表の左欄に掲げる検査の項目の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる妊娠週数及び回数を目安として行うものとする。

検査の項目	妊娠週数及び回数の目安
血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体に係るもの）	妊娠初期に1回
B型肝炎抗原検査	
C型肝炎抗体検査	
HIV抗体検査	
梅毒血清反応検査	
風疹ウイルス抗体検査	
血糖検査	妊娠初期に1回及び妊娠24週から妊娠35週までの間に1回
血算検査	妊娠初期に1回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回
HTLV-1抗体検査	妊娠初期から妊娠30週までの間に1回
子宮頸がん検診（細胞診）	妊娠初期に1回
超音波検査	妊娠初期から妊娠23週までの間に2回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回
性器クラミジア検査	妊娠初期から妊娠30週までの間に1回
B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査	妊娠33週から妊娠37週までの間に1回

第3 市町村の責務

1 市町村は、妊婦健康診査の受診の重要性について、妊婦等に対する周知・広報に努めるものとする。

2 市町村は、里帰り先等において妊婦健康診査を受診する妊婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦の居住地以外の病院、診療所又は助産所と事前に契約を行う等の配慮をするよう努めるものとする。

3 市町村は、妊婦健康診査を実施する医療機関等と連携体制を構築し、養育支援を必要とする妊婦に対し、適切な支援を提供するよう努めるものとする。

4 市町村は、原則として、妊婦健康診査を実施する医療機関等に対して、妊婦健康診査の結果等の提供を求めるよう努めるものとする。

5. 妊婦健診と産後ケア まとめ

- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は10,882円（中央値3,460円）。
- 平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約13.4回で、中央値も13.4回。
- 産後ケア事業の短期入所型（1泊2日ショートステイ型）の費用の平均値は、病院+診療所で42,768円、助産所で51,462円。
- 病院+診療所における産後ケアでの1ヶ月間の延べ利用者数の平均は約7.5人、助産所では約8.2人。

6. 分娩取扱施設の収益等

年度別の損益率の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率※注1		R 4 年度	R 5 年度	回答施設数	平均病床数	平均分娩件数※注3
回答のあった病院全体		▲5.4%	▲6.9%	74	448	36.8
	（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	▲5.9%	▲6.9%	39	541	41.2
	（再掲）それ以外の病院	▲8.1%	▲6.5%	35	321	31.8
	うち、産婦人科部門※注2	12.7%	12.2%	16	543	57.1
	（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	21.1%	20.1%	8	737	58.9
	（再掲）それ以外の病院	▲0.7%	▲0.1%	8	253	55.3

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

※ 注2 病院の調査において、産婦人科部門の損益について、病院全体と分けて会計処理されている医療機関においては、産婦人科部門について別に回答いただいたものを集計した。

※ 注3 令和6年9月1日～30日の1か月間での平均分娩件数

（参考）

損益率※注3	R 3 年度	R 4 年度	回答施設数	平均病床数
第24回医療経済実態調査（一般病院）	▲5.5%	▲6.7%	703	172

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

年度別の損益率の状況②（一般診療所・助産所）

一般診療所

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率 ^{※注1}	R 4 年度	R 5 年度	回答施設数
医療法人	6.3%	3.6%	43
個人	5.8%	13.1%	8

助産所

損益率 ^{※注1}	R 4 年度	R 5 年度	今回調査の 回答施設数
個人	15.5%	11.7%	14
個人以外 ^{※注2}	3.0%	▲3.6%	4

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 個人立の一般診療所については、損益差額の計算上、開設者（院長等）の報酬に相当する部分が、費用に計上されていないこと等から、医療法人よりも、「損益率」が数値上高くあらわれている。

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

（参考）

損益率 ^{※注1}	R 3 年度	R 4 年度	回答施設数
第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり、全体）	6.4%	4.7%	115
（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	4.7%	2.7 %	31

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

各収益・費用項目の伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）									金額の伸び率（R3→R4年度）	
	回答のあった病院全体									（参考） 第24回医療経済実態調査 一般病院、全体）	
	総合・地域周産期母子医療センター			それ以外の病院							
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注2
医業収益	2.7%	▲1.2%	99.9%	2.2%	▲2.4%	99.9%	3.7%	0.8%	99.8%	2.1%	99.8%
入院診療収益	2.8%	▲1.0%	66.0%	2.3%	▲2.8%	65.9%	4.2%	1.9%	66.0%	2.2%	66.8%
保険診療収益	2.8%	▲1.9%	65.2%	2.2%	▲2.9%	65.2%	4.3%	0.9%	65.0%	2.5%	65.3%
公害等診療収益	▲6.5%	▲43.5%	0.3%	▲0.3%	▲43.5%	0.3%	▲33.1%	0.0%	0.1%	▲5.3%	0.5%
その他の診療収益	7.5%	2.9%	0.5%	13.8%	1.0%	0.4%	1.7%	3.2%	0.9%	▲7.4%	0.9%
特別の療養環境収益	11.0%	4.2%	1.0%	7.5%	4.7%	1.0%	19.3%	0.9%	1.0%	▲6.1%	0.8%
外来診療収益	4.2%	0.7%	30.6%	4.7%	2.5%	31.0%	3.1%	▲1.5%	29.9%	2.8%	28.3%
保険診療収益	4.3%	1.1%	30.3%	4.7%	3.0%	30.7%	3.4%	▲2.4%	29.5%	3.0%	27.4%
公害等診療収益	2.2%	44.2%	0.1%	7.4%	44.2%	0.1%	▲8.6%	0.0%	0.1%	2.9%	0.3%
その他の診療収益	▲10.5%	▲0.4%	0.2%	▲4.7%	▲1.9%	0.2%	▲17.9%	0.1%	0.3%	▲7.5%	0.6%
その他の医業収益	▲18.6%	▲21.9%	2.3%	▲25.8%	▲32.0%	2.0%	▲5.1%	▲1.7%	3.0%	▲2.8%	3.9%
介護収益	3.8%	0.0%	0.1%	3.8%	0.0%	0.1%	3.7%	0.0%	0.2%	▲14.6%	0.2%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R４→R５年度）									金額の伸び率 （R３→R４年度）		
	回答のあった病院全体									（参考） 第24回医療経済実態 調査（一般病院、全 体）		
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介 護収益に 占める比 率※注１		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介 護収益に 占める比 率※注１		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介 護収益に 占める比 率※注１		（参考） 医業・介 護収益に 占める比 率※注２	
医業・介護費用	4.1%	▲0.5%	106.9%	5.0%	▲1.2%	107.0%	2.1%	0.3%	106.5%	3.2%	106.7%	
給与費	1.4%	1.0%	48.6%	2.0%	1.4%	46.7%	0.2%	0.6%	52.7%	1.9%	56.9%	
医薬品費	8.2%	6.8%	21.0%	8.2%	5.8%	22.6%	7.9%	10.1%	17.2%	5.6%	13.1%	
給食用材料費	5.1%	6.6%	0.5%	5.2%	12.4%	0.4%	5.0%	4.7%	0.6%	1.8%	0.7%	
診療材料費・医療消耗器具備品費	5.0%	3.3%	12.3%	4.9%	3.7%	12.7%	5.4%	2.7%	11.4%	2.7%	9.7%	
委託費	3.2%	▲1.7%	7.4%	3.0%	▲2.3%	7.2%	3.8%	▲1.3%	7.7%	2.7%	7.5%	
	（再掲）給食委託費	▲0.4%	▲6.2%	0.7%	2.8%	▲12.5%	0.7%	▲8.3%	0.2%	0.6%	2.2%	1.2%
	（再掲）人材委託費	5.4%	3.0%	1.5%	5.2%	2.8%	1.4%	6.0%	3.7%	1.6%	6.4%	1.3%
	（再掲）紹介手数料	43.0%	0.0%	0.0%	25.6%	0.0%	0.0%	65.6%	0.0%	0.0%	20.1%	0.1%
減価償却費	0.5%	▲1.9%	6.9%	0.6%	▲1.3%	6.9%	0.2%	▲3.9%	7.0%	2.8%	5.8%	
	（再掲）建物減価償却費	▲3.9%	0.7%	2.2%	▲4.1%	▲0.6%	2.3%	▲3.3%	3.1%	2.0%	4.0%	1.9%
	（再掲）医療機器減価償却費	1.4%	▲1.5%	3.0%	4.5%	3.1%	3.0%	▲5.3%	▲9.7%	2.8%	4.5%	2.0%
設備関係費	2.0%	▲1.6%	9.9%	1.3%	0.4%	9.8%	3.5%	▲4.2%	10.3%	2.7%	4.2%	
	（再掲）設備機器賃借料	5.8%	▲6.5%	0.9%	6.5%	4.1%	0.9%	4.0%	▲10.0%	0.8%	▲0.7%	1.1%
	（再掲）医療機器賃借料	4.5%	▲12.4%	0.6%	4.7%	5.4%	0.6%	3.9%	▲18.6%	0.5%	0.0%	0.7%
経費	17.7%	▲21.7%	5.6%	30.7%	▲40.8%	5.9%	▲7.3%	▲2.0%	5.0%	11.9%	6.3%	
	（再掲）水道光熱費	▲12.0%	▲12.8%	1.9%	▲11.2%	▲13.9%	2.0%	▲14.1%	▲10.6%	1.8%	32.2%	2.3%
その他の医業費用	2.8%	34.0%	1.6%	4.0%	2.5%	1.7%	0.1%	▲1.3%	1.6%	4.7%	2.4%	

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率③（一般診療所①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）		（参考） 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり）		（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	
		（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注1		（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注2		（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注2
医業収益	▲2.0%	99.6%	▲0.2%	95.7%	▲2.5%	100.0%
入院診療収益	▲1.5%	58.8%	0.2%	33.7%	▲1.3%	57.1%
保険診療収益	▲1.7%	20.4%	0.7%	22.1%	▲3.0%	14.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.4%	0.1%	▲100.0%	0.0%
その他の診療収益	▲1.4%	38.1%	▲0.6%	11.5%	▲0.7%	43.1%
外来診療収益	▲2.7%	33.6%	0.7%	57.6%	1.6%	38.0%
保険診療収益	0.1%	21.7%	0.8%	50.9%	4.6%	20.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.2%	0.2%	66.7%	0.0%
その他の診療収益	▲7.4%	11.7%	0.9%	6.5%	▲1.5%	18.0%
その他の医業収益	▲2.8%	7.2%	▲9.9%	5.5%	▲35.2%	5.1%
介護収益	▲8.0%	0.4%	▲1.1%	4.3%	—	0.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率④（一般診療所②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）		（参考） 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり）			
		（参考） 医業・介護収益に占める比率※注1		（参考） 医業・介護収益に占める比率※注2	（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	（参考） 医業・介護収益に占める比率※注2
医業・介護費用	0.9%	96.4%	1.7%	95.3%	▲0.4%	97.3%
給与費	2.0%	57.6%	3.2%	48.7%	5.6%	55.4%
医薬品費	3.4%	6.7%	▲1.5%	11.0%	5.3%	6.7%
材料費	0.0%	0.0%	3.0%	6.4%	▲1.0%	3.1%
給食用材料費	1.6%	3.7%	▲0.8%	0.8%	▲4.2%	1.4%
委託費	3.0%	5.8%	6.9%	6.0%	10.0%	6.7%
（再掲）給食委託費	13.9%	1.3%	7.3%	1.6%	11.2%	2.4%
（再掲）人材委託費	▲9.0%	0.4%	12.1%	1.0%	100.8%	0.8%
（再掲）紹介手数料	▲37.5%	0.1%	4.4%	0.1%	▲49.7%	0.0%
減価償却費	0.2%	4.6%	▲3.9%	3.5%	5.6%	3.3%
（再掲）建物減価償却費	2.3%	1.6%	▲0.3%	0.9%	0.3%	0.8%
（再掲）医療機器減価償却費	▲8.5%	0.9%	▲4.3%	1.1%	4.8%	0.9%
その他の医業・介護費用	▲3.9%	18.0%	▲1.1%	18.9%	▲17.3%	20.8%
（再掲）設備機器賃借料	3.5%	1.1%	1.3%	1.3%	2.3%	1.2%
（再掲）医療機器賃借料	1.0%	0.7%	▲3.5%	0.9%	0.1%	0.9%
（再掲）水道光熱費	5.5%	1.7%	17.6%	1.9%	18.4%	1.5%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率⑤（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目		金額の伸び率（R4→R5年度）			
		個人		個人以外 ^{※注2}	
			（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}		（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}
収益合計		▲2.7%	100.0%	▲2.8%	100.0%
	出産の収益	▲1.9%	61.4%	▲4.1%	45.5%
	妊婦健診等の健診の収益	5.1%	8.5%	▲2.5%	11.2%
	その他の収益	▲6.3%	30.0%	▲1.6%	43.4%

費用項目		金額の伸び率（R4→R5年度）			
		個人		個人以外 ^{※注2}	
			（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}		（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}
医業・介護費用		1.7%	88.3%	3.8%	103.6%
	給与費	1.3%	41.1%	6.3%	59.6%
	医薬品費	34.7%	0.5%	▲28.6%	0.5%
	給食用材料費	▲8.8%	2.7%	▲13.5%	1.1%
	材料費	▲10.3%	4.9%	▲7.8%	7.2%
	委託費	44.7%	5.8%	7.8%	2.8%
	（再掲）給食委託費	21.3%	0.5%	0.0%	0.0%
	（再掲）人材委託費	52.8%	4.9%	19.3%	2.1%
	減価償却費	▲2.3%	7.8%	45.7%	3.4%
	（再掲）建物減価償却費	5.3%	4.9%	29.3%	2.4%
	（再掲）医療機器減価償却費	2.0%	1.2%	128.7%	0.4%
	その他の医業・介護費用	0.0%	25.5%	0.0%	29.0%
	（再掲）設備機器賃借料	▲20.5%	0.7%	▲27.8%	0.7%
	（再掲）医療機器賃借料	▲29.6%	0.4%	▲27.8%	0.7%
	（再掲）水道光熱費	▲6.4%	2.2%	▲3.2%	3.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 収益に占める比率は、令和5年度の数値。
※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

職種別給与の平均と中央値、伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった病院全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	65	20,749,510	20,579,140	20,855,230	20,614,000	0.5%
医師	74	15,618,850	14,474,910	15,741,970	14,843,990	0.8%
産婦人科医師	65	16,176,280	16,777,240	16,218,170	15,937,420	0.3%
小児科医師	61	14,597,890	15,315,940	14,826,040	15,692,730	1.6%
麻酔科医師	54	14,750,070	15,379,460	15,133,860	15,268,290	2.6%
歯科医師	43	12,407,290	12,643,740	12,281,150	12,789,640	▲1.0%
薬剤師	71	7,472,293	5,828,920	7,418,553	5,948,071	▲0.7%
助産師	70	6,072,989	5,644,170	6,177,764	5,776,781	1.7%
看護職員	73	6,234,536	5,566,804	6,912,037	5,637,998	10.9%
看護補助職員	47	4,068,473	3,228,391	4,042,137	3,329,272	▲0.6%
医療技術員	69	8,415,458	5,671,359	8,332,027	5,675,461	▲1.0%
歯科衛生士	39	4,495,757	4,463,927	4,608,163	4,649,258	2.5%
歯科技工士	18	6,289,383	6,051,407	6,120,862	6,292,096	▲2.7%

	回答 施設数	総合・地域周産期母子医療センター				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	32	19,020,370	18,669,760	19,203,800	18,649,930	1.0%
医師	35	15,010,000	13,959,120	15,131,560	14,634,800	0.8%
産婦人科医師	32	14,366,270	14,760,160	14,303,900	14,537,090	▲0.4%
小児科医師	31	13,923,600	15,204,230	13,923,920	15,188,490	0.0%
麻酔科医師	32	13,519,360	14,404,940	13,667,000	14,427,100	1.1%
歯科医師	24	11,434,070	10,314,070	11,234,990	10,204,040	▲1.7%
薬剤師	33	6,011,868	5,826,234	6,058,197	5,866,564	0.8%
助産師	30	6,620,836	5,687,087	6,765,292	5,867,949	2.2%
看護職員	34	5,666,518	5,576,578	5,789,460	5,699,924	2.2%
看護補助職員	19	3,369,121	3,079,252	3,272,165	3,108,317	▲2.9%
医療技術員	34	8,789,787	5,689,442	8,611,568	5,850,760	▲2.0%
歯科衛生士	26	4,684,326	4,517,557	4,822,448	4,866,014	2.9%
歯科技工士	16	6,168,524	6,051,407	5,990,434	6,292,096	▲2.9%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職種別給与の平均と中央値、伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	それ以外の病院				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	33	22,426,260	21,736,900	22,458,100	21,636,160	0.1%
医師	39	16,165,250	15,785,890	16,277,930	15,383,550	0.7%
産婦人科医師	33	17,931,440	17,607,390	18,079,260	17,322,820	0.8%
小児科医師	30	15,294,660	15,557,670	15,812,730	16,026,030	3.4%
麻酔科医師	22	16,540,190	16,779,210	17,273,040	16,464,970	4.4%
歯科医師	19	13,636,620	12,998,840	13,641,150	14,038,490	0.0%
薬剤師	38	8,740,557	5,905,986	8,574,856	6,031,570	▲1.9%
助産師	40	5,662,104	5,548,332	5,719,207	5,506,954	1.0%
看護職員	39	6,729,730	5,566,804	7,870,334	5,600,098	16.9%
看護補助職員	28	4,543,033	3,374,944	4,588,568	3,338,579	1.0%
医療技術員	35	8,051,823	5,527,762	8,060,251	5,519,323	0.1%
歯科衛生士	13	4,118,618	4,384,746	4,179,594	4,149,066	1.5%
歯科技工士	2	7,256,251	7,256,251	7,164,286	7,164,286	▲1.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院全体)				
		R 3 年度		R 4 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	605	26,208,673	23,359,348	26,334,663	23,778,440	0.5%
医師	609	14,619,456	16,889,246	14,610,739	16,748,784	▲0.1%
歯科医師	124	12,587,192	12,637,429	12,491,733	12,025,456	▲0.8%
薬剤師	605	5,625,692	5,668,371	5,688,862	5,657,393	1.1%
看護職員	627	5,127,639	4,909,081	5,209,279	4,975,673	1.6%
看護補助職員	549	3,187,598	3,099,619	3,244,894	3,138,072	1.8%
医療技術員	609	4,657,816	4,462,923	4,675,624	4,496,132	0.4%
歯科衛生士	157	3,759,497	3,656,860	3,778,665	3,668,069	0.5%
歯科技工士	17	5,050,562	4,704,000	4,909,517	4,439,325	▲2.8%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職種別給与の平均と中央値、伸び率③（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった診療所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	68	36,121,330	33,940,000	33,962,280	31,735,000	▲6.0%
医師	54	25,903,460	15,543,890	23,621,370	14,200,000	▲8.8%
産婦人科医師	54	23,733,230	18,850,630	24,044,530	16,928,760	1.3%
小児科医師	14	23,408,430	10,554,200	21,344,610	6,637,500	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	4	5,539,325	4,995,150	5,570,325	5,048,150	0.6%
助産師	77	6,901,160	5,157,783	7,206,525	5,205,775	4.4%
看護職員	77	9,188,326	4,546,462	9,137,582	4,497,461	▲0.6%
看護補助職員	51	5,249,070	2,711,750	4,428,884	2,730,500	▲15.6%
医療技術員	22	3,959,305	4,094,924	4,012,151	4,081,288	1.3%

	回答 施設数	医療法人				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	64	36,529,220	34,725,000	34,582,340	32,580,000	▲5.3%
医師	44	28,765,430	16,900,000	26,222,290	15,227,610	▲8.8%
産婦人科医師	44	24,690,920	18,612,780	25,446,140	16,928,760	3.1%
小児科医師	12	26,669,610	12,930,150	24,312,910	9,129,200	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	3	5,857,767	5,406,300	5,875,767	5,442,300	0.3%
助産師	62	7,423,518	5,273,470	7,773,486	5,330,472	4.7%
看護職員	64	10,162,960	4,524,156	10,108,230	4,525,618	▲0.5%
看護補助職員	46	5,463,929	2,702,229	4,586,631	2,729,616	▲16.1%
医療技術員	20	3,900,943	4,080,648	4,030,608	4,081,288	3.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般診療所、医療法人)				
		R 3 年度		R 4 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	1014	25,915,156	21,600,000	26,529,548	21,600,000	2.4%
医師	365	10,940,874	10,500,000	11,180,508	11,600,000	2.2%
薬剤師	31	7,797,038	5,708,450	7,416,328	5,992,800	▲4.9%
看護職員	872	4,012,040	3,836,950	4,092,131	3,887,538	2.0%
看護補助職員	180	2,547,336	2,673,775	2,605,794	2,682,001	2.3%
医療技術員	285	4,088,232	4,020,609	4,211,087	4,107,151	3.0%

※ 本調査の項目について、給与が上位99パーセンタイルを超える、もしくは、下位1パーセント以下を外れ値として除外

職種別給与の平均と中央値、伸び率④（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答施設数	回答のあった助産所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	15	4,302,448	4,800,000	4,208,539	4,219,350	▲2.2%
助産師	48	3,150,478	2,500,000	3,173,848	2,579,622	0.7%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	3	4,610,501	4,800,000	4,506,531	4,800,000	▲2.3%
助産師	33	2,689,389	1,397,484	2,725,024	1,704,433	1.3%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人以外※1				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	12	4,225,435	4,615,000	4,134,041	4,034,675	▲2.2%
助産師	15	4,164,874	3,680,000	4,161,261	3,533,333	▲0.1%
看護職員	—	—	—	—	—	
看護補助職員	—	—	—	—	—	

※ 常勤勤務者数について、「人・月」を「人」で回答した助産所については12倍することで「人・月」に換算の上、給与を算出した。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療系協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

年度別の資産・負債の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	今回調査						(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院)	
	R 4 年度			R 5 年度			R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった病院全体			回答のあった病院全体				
		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		
流動資産	8,472,798	10,919,832	5,593,935	8,341,490	10,413,983	5,903,264	1,703,514	1,778,404
固定資産	15,294,655	20,118,598	9,619,427	15,176,233	19,968,088	9,538,756	3,093,195	3,134,728
繰延資産	109,607	66,347	160,501	57,668	60,874	53,897	22,441	23,882
資産合計	23,877,060	31,104,778	15,373,862	23,575,392	30,442,944	15,495,917	4,819,150	4,937,014
流動負債	3,748,013	5,308,976	1,911,584	3,959,571	5,679,599	1,936,008	841,669	832,276
固定負債	10,710,495	14,022,526	6,813,987	10,207,606	13,415,679	6,433,402	2,179,129	2,167,468
（うち）長期借入金	6,529,807	8,247,352	4,559,683	6,239,824	7,731,987	4,528,224	1,294,649	1,255,522
負債合計	14,458,507	19,331,502	8,725,572	14,167,176	19,095,278	8,369,410	3,020,798	2,999,743
資本合計	9,418,552	11,773,275	6,648,291	9,408,215	11,347,667	7,126,507	1,798,352	1,937,271
施設数	74	40	34	74	40	34	664	
平均病床数	473	634	284	476	632	285	174	173

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

年度別の資産・負債の状況②（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	今回調査				（参考）第24回医療経済実態調査 一般診療所（入院診療収益あり、全体）	
	R 4 年度		R 5 年度		R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった診療所全体		回答のあった診療所全体			
		医療法人		医療法人		
流動資産	231,861	244,249	231,366	242,508	268,332	267,163
固定資産	285,630	285,536	287,630	288,552	301,098	307,457
繰延資産	4,377	4,828	5,007	5,142	3,264	3,080
資産合計	522,078	534,612	522,591	534,260	572,694	577,700
流動負債	53,723	57,675	58,303	63,483	91,898	93,795
固定負債	133,181	116,580	129,852	110,715	106,053	95,378
（うち）長期借入金	104,310	91,206	94,979	78,017	97,920	85,080
負債合計	187,261	174,255	188,521	174,209	197,951	189,173
資本合計	334,817	360,357	334,070	360,051	374,743	388,527
施設数	112	94	112	94	124	

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

年度別の資産・負債の状況③（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	R 4 年度			R 5 年度		
	回答のあった助産所全体			回答のあった助産所全体		
		個人	個人以外 ※注1		個人	個人以外 ※注1
流動資産	14,478	12,671	20,874	13,502	11,623	20,150
固定資産	26,979	23,430	39,538	26,687	23,277	38,755
繰延資産	390	500	0	336	431	0
資産合計	43,323	38,494	60,412	41,754	36,907	58,906
流動負債	10,444	11,412	7,020	10,965	12,092	6,976
固定負債	9,762	7,559	17,557	9,176	7,180	16,238
（うち）長期借入金	9,222	7,744	14,453	8,130	6,748	13,019
負債合計	22,223	21,557	24,577	21,635	21,188	23,214
資本合計	21,101	16,937	35,835	20,119	15,718	35,692
施設数	59	46	13	59	46	13

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

6. 分娩取扱施設の収益等 まとめ

- 年度別の「損益率」の状況について、回答のあった「病院」（74施設、平均病床数448）では、令和4年度が▲5.4%、令和5年度が▲6.9%であった。うち、「総合・地域周産期母子医療センター」（39施設、平均病床数541）では、令和4年度が▲5.9%、令和5年度が▲6.9%であり、「それ以外の病院」（35施設、平均病床数321）では、令和4年度が▲8.1%、令和5年度が▲6.5%であった。また、「診療所」（医療法人、43施設）では、令和4年度が6.3%、令和5年度が3.6%であった。
- 「助産所」の年度別の「損益率」は、個人（14施設）が、令和4年度が15.5%、令和5年度が11.7%であり、個人以外（4施設）が、令和4年度が3.0%、令和5年度が▲3.6%であった。
- 令和5年度の「職種別（産婦人科医師）の給与」の平均値について、回答のあった病院全体（回答65施設）で16,218,170円、総合・地域周産期母子医療センター（回答32施設）で14,303,900円、それ以外の病院（回答33施設）で18,079,260円、診療所（医療法人、回答44施設）で25,446,140円であった。
- 令和5年度の「助産所における給与」の平均値について、回答のあった助産所全体で、管理者（回答15施設）で4,208,539円、助産師（48施設）で3,173,848円であった。

7. まとめ（全体）

- 本報告の分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、速報値による報告であることに留意いただきたい。尚、修正や調整が可能と判断したデータについては、研究班により統計的な処理を施した。調整内容については、当該スライドに明記している。
- 本調査では、2073施設の分娩取扱施設（病院、診療所、助産所）に調査票を送付し、1072施設（回収率は46.6%）に回答協力いただいた。
- 1か月間の「全分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。助産所における1年間の分娩取扱件数の平均は13件。
- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「お祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%、助産所で31%で提供。料金は、80%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 病院では混合病棟が68%であり、「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%であった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い。
- 「帝王切開」は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。「無痛分娩」は総合・地域周産期母子医療センター11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%だった。
- 入院中の助産ケアについて、「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。「育児技術指導」の延べ時間（平均）は初産婦で257分、経産婦で218分であり、「退院指導」の時間は初産婦で45.4分、経産婦で41.6分であった。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」より「経産婦」の方が割合が高く、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。
- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。
- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高い。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については診療所が高い傾向。
- 正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人。
- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目の費用は10,882円（中央値3,460円）。
- 年度別の損益率の状況について、回答のあった病院（74施設）では、令和4年度が▲5.4%、令和5年度が▲6.9%であった。うち、総合・地域周産期母子医療センター（39施設）では、令和4年度が▲5.9%、令和5年度が▲6.9%であり、それ以外の病院（35施設）では、令和4年度が▲8.1%、令和5年度が▲6.5%であった。また、診療所（医療法人、43施設）では、令和4年度が6.3%、令和5年度が3.6%であった。
- 今後は、外れ値や誤答と思われるものへの対処を含むデータの精査を行い、より精緻な分析を行う予定である。また、分娩取扱時に提供される診療や助産等の実態をより精緻にまとめるために、他計式前向き調査によるタイムスタディ実施する予定である。